

**国土形成計画(全国計画)のモニタリングに  
関する調査・分析業務  
参考資料**

**平成 27 年 3 月  
国土交通省国土政策局**



# 目 次

参考1	5つの戦略的目標の進捗度のモニタリング結果の図表	
(1)	代表指標（本文中図表の抜粋）	1
1-1	戦略的目標1：東アジアとの円滑な交流・連携	3
1-2	戦略的目標2：持続可能な地域の形成	6
1-3	戦略的目標3：災害に強いしなやかな国土の形成	10
1-4	戦略的目標4：美しい国土の管理と継承	12
1-5	戦略的目標5：「新たな公」を基軸とする地域づくり	16
(2)	参考指標	18
1-6	戦略的目標1：東アジアとの円滑な交流・連携	19
1-7	戦略的目標2：持続可能な地域の形成	23
1-8	戦略的目標3：災害に強いしなやかな国土の形成	28
1-9	戦略的目標4：美しい国土の管理と継承	29
1-10	戦略的目標5：「新たな公」を基軸とする地域づくり	34
(3)	5つの戦略的目標の進捗度のモニタリング構成	36
参考2	国民を対象とした意識調査	
2-1	「戦略的目標1：東アジアとの円滑な交流・連携」について（問1）	45
2-2	「戦略的目標2：持続可能な地域の形成」について（問2）	58
2-3	「戦略的目標3：災害に強いしなやかな国土の形成」について（問3）	73
2-4	「戦略的目標4：美しい国土の管理と継承」について	83
2-5	「戦略的目標5：『新たな公』を基軸とする地域づくり」について	126
参考2	別添	
	国土形成計画（全国計画）のモニタリングにおける意識調査【調査画面】	208
作業用参考	分野別施策と各省庁の政策評価指標との対応表（平成26年度）	



参考 1 5つの戦略的目標の進捗度のモニタリング結果の図表

(1) 代表指標 (本文中図表の抜粋)

## 【代表指標の一覧】

### 戦略的目標 1 東アジアとの円滑な交流・連携

- (1) 東アジアネットワーク型の産業構造下における我が国産業の強化  
東アジア内での貿易総額に占める（各広域ブロックの）割合
- (2) 東アジアの共通課題への取組、文化交流、人材育成  
外国籍入国者に占める東アジア国籍入国者の割合
- (3) 円滑な交流・連携のための国土基盤の形成  
「東アジア1日圏」人口割合

### 戦略的目標 2 持続可能な地域の形成

- (1) 持続可能で暮らしやすい都市圏の形成  
現在の住生活に対する満足度
- (2) 地域資源を活かした産業の活性化  
地域資源活用事業数
- (3) 美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開  
農林水産物の輸出額
- (4) 地域間の交流・連携と地域への人の誘致・移動の促進  
ブロック内地域間時間距離

### 戦略的目標 3 災害に強いしなやかな国土の形成

- (1) 減災の観点も重視した災害対策の推進  
自主防災組織活動カバー率
- (2) 災害に強い国土構造への再構築  
災害被害額

### 戦略的目標 4 美しい国土の管理と継承

- (1) 循環と共生を重視し適切に管理された国土の形成  
環境効率性
- (2) 流域圏における国土利用と水循環系の管理  
公共用水域における環境基準達成率
- (3) 海域の適正な利用と保全  
沿岸域毎の水質基準達成率
- (4) 魅力あふれる国土の形成と国土の国民的経営  
「国土の国民的経営」に向けた取組の参加率

### 戦略的目標 5 「新たな公」を基軸とする地域づくり

- (1) 「新たな公」を基軸とする地域づくりのシステム  
「新たな公」による地域づくり活動進展度
- (2) 多様な民間主体の発意・活動を重視した自助努力による地域づくり  
「新たな公」による地域づくり活動参加率

1-1 戦略的目標 1：東アジアとの円滑な交流・連携

サブ戦略的目標（1）：東アジアネットワーク型の産業構造下における我が国産業の強化

**戦略的目標 1：東アジアとの円滑な交流・連携**

**サブ戦略的目標（1）：東アジアネットワーク型の産業構造下における我が国産業の強化**

**【代表指標】**  
**東アジア内での貿易総額に占める(各広域ブロックの)割合**

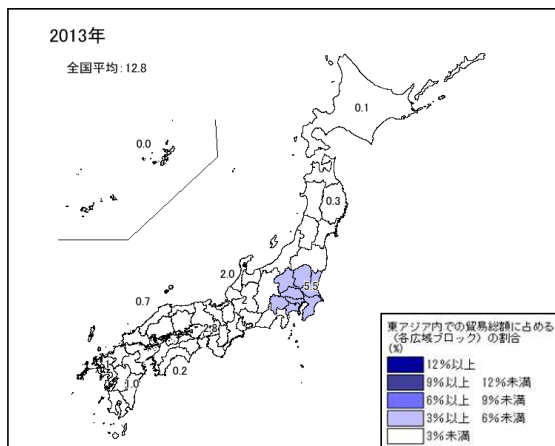
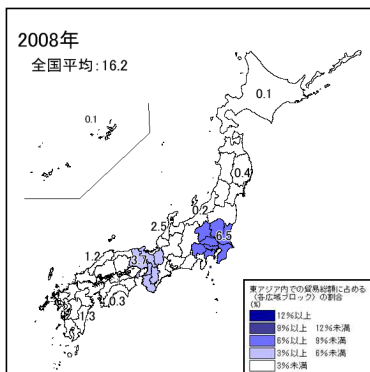
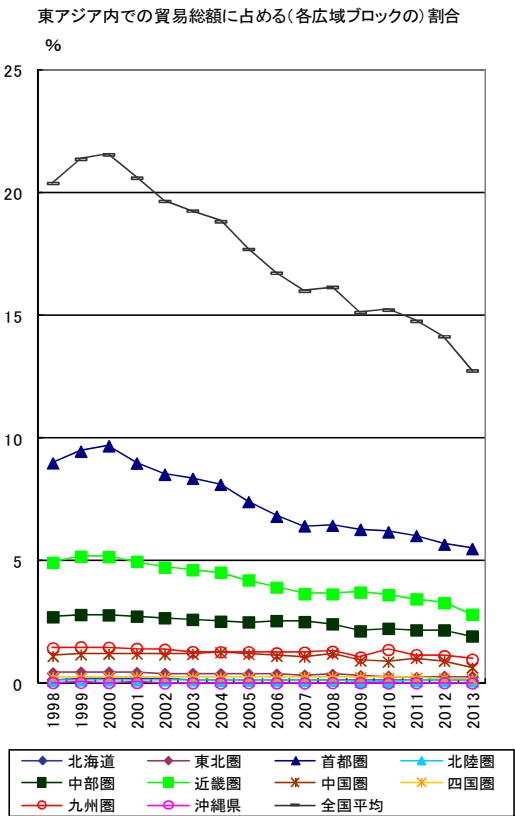
**【指標の定義】**  
 東アジア諸国の対東アジア貿易総額（各国の輸出入総額）に占める各広域ブロックの対東アジア貿易額（輸出入額）の割合（日本の対東アジア貿易額（輸出入額）を広域ブロック毎に積算）  
 単位：％  
 ※東アジア：日本、中国、韓国、台湾、ASEAN10、ロシア、インド、オーストラリア、ニュージーランド  
 ※IMF「Direction of Trade」には台湾のデータは含まれない

**【データ出典】**  
 東アジア域内：IMF「Direction of Trade」  
 国内（広域ブロック別）：財務省「貿易統計」

**【指標設定の視点】**  
 経済・産業面での東アジアとの交流・連携状況

**【モニタリング結果】**  
 全国的には、平成25年（2013年）は平成20年（2008年）と比較して進展していると見られない。  
 広域ブロック別では、平成25年（2013年）は平成20年（2008年）と比較して、いずれの広域ブロックにおいても進展していると見られない。

**【指標の動向】**  
 全国平均は、2001年以降減少傾向にあり、2008年、および2010年に対前年比で増加を示したが、2011年以降はそれぞれ対前年比で減少した。アジア全体の貿易総額は増加しているが、日本の貿易総額は伸び悩んでおり、特に2011年以降は輸出額が対前年比で減少している。



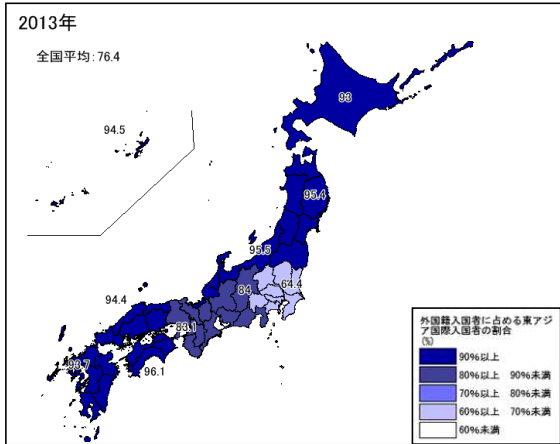
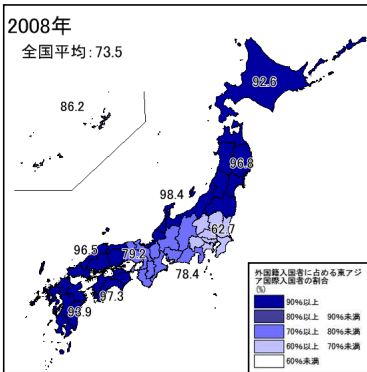
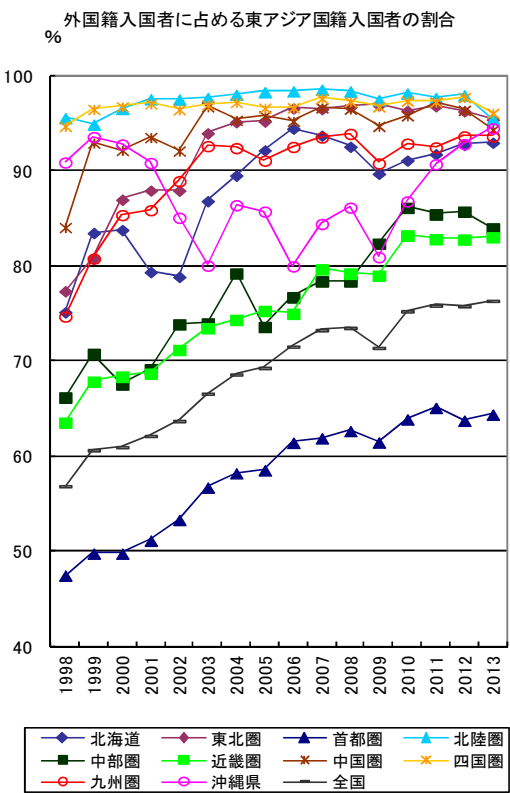
サブ戦略的目標（２）：東アジアの共通課題への取組、文化交流、人材育成

**戦略的目標 1：東アジアとの円滑な交流・連携**

サブ戦略的目標（２）：東アジアの共通課題への取組、文化交流、人材育成

**【代表指標】**  
**外国籍入国者に占める東アジア国籍入国者の割合**  
**【指標の定義】**  
 わが国への外国籍入国者のうち、東アジア国籍の入国者が占める割合  
 単位：％  
 ※広域ブロック毎の値は、入国審査の際に使用した空港、海港の所在地で分類  
 ※東アジア：中国、韓国、台湾、ASEAN10、ロシア、インド、オーストラリア、ニュージーランド  
 ※法務省「出入国管理統計」からシンガポール、マレーシア、ブルネイ、ミャンマー、ラオス、カンボジアのデータは収集できない  
**【データ出典】**  
 法務省「出入国管理統計」  
**【指標設定の視点】**  
 東アジアとの人的交流の状況

**【モニタリング結果】**  
 全国的には、平成25年（2013年）は平成20年（2008年）と比較して進展していると見られる。  
 広域ブロック別では、平成25年（2013年）は平成20年（2008年）と比較して、北海道、首都圏、中部圏、近畿圏、沖縄県においては、進展していると見られる。一方に東北圏、北陸圏、中国圏、四国圏、九州圏においては、進展していると見られない。  
**【指標の動向】**  
 全国値は2009年、2012年を除き前年と比較して増加傾向にある。世界全体からの外国籍入国者数、および東アジアからの外国籍入国者数ともに前年と比較して増加しているが、世界全体からの入国者数の伸びが、東アジアからの入国者数の伸びを上回っている。





サブ戦略的目標（3）：円滑な交流・連携のための国土基盤の形成

**戦略的目標 1：東アジアとの円滑な交流・連携**

サブ戦略的目標（3）：円滑な交流・連携のための国土基盤の形成

**【代表指標】**  
**「東アジア1日圏」人口割合**

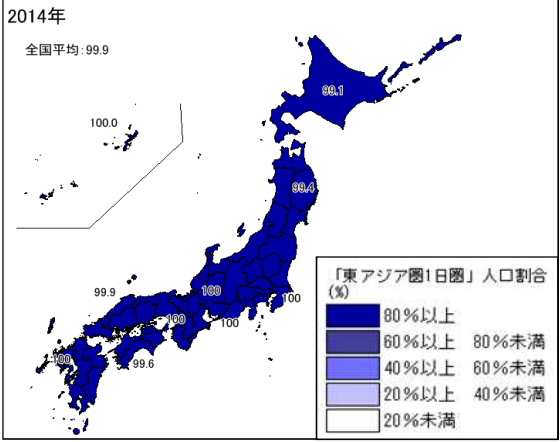
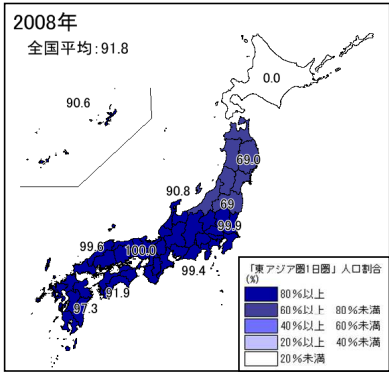
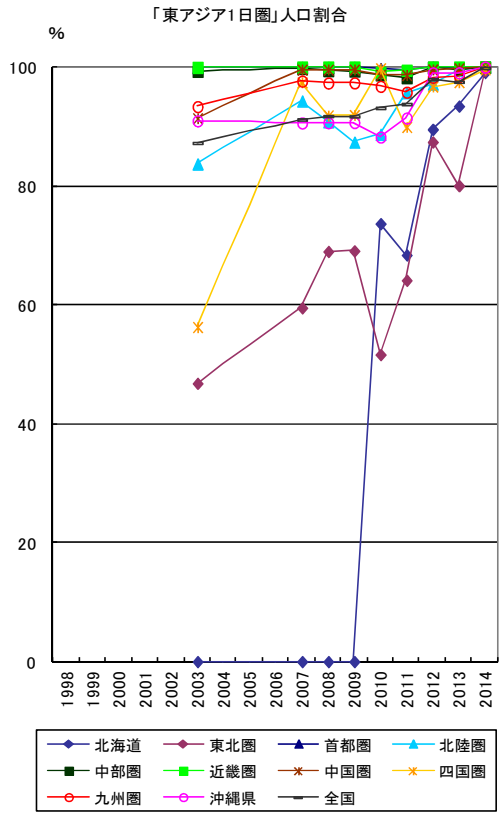
**【指標の定義】**  
 東アジアのいずれかの主要都市へ出発した当日に到着して、一定の用務を行うことが可能な日本の地域（市区町村単位）に居住する人口割合  
 単位：％  
 ※上記が毎日可能な範囲（＝航空路が毎日就航）

**【データ出典】**  
 航空ダイヤ：JTB時刻表  
 都市圏域：国土交通省「総合交通分析システム（NITAS）」  
 人口：総務省「国勢調査」  
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」

**【指標設定の視点】**  
 東アジアの準域内化を促進する交通基盤の整備状況

**【モニタリング結果】**  
 全国的には、平成26年（2014年）は平成20年（2008年）と比較して進展していると見られる。  
 広域ブロック別では、平成26年（2014年）は平成20年（2008年）と比較して、北海道、東北圏、北陸圏、四国圏、九州圏、沖縄県においては、進展していると見られる。また、首都圏、中部圏、近畿圏、中国圏は、平成26年（2014年）は前年までに引き続き十分進展していると見られる。

**【指標の動向】**  
 全国値は、2003年以降増加傾向にあり、2014年も2008年と比較して増加した。2013年10月に仙台－北京線が運休となったことで、東北圏の値が減少した。（なお、当該路線は2014年3月から運航開始された。）



1-2 戦略的目標 2：持続可能な地域の形成

サブ戦略的目標（1）：持続可能で暮らしやすい都市圏の形成

**戦略的目標 2：持続可能な地域の形成**

**サブ戦略的目標（1）：持続可能で暮らしやすい都市圏の形成**

**【代表指標】**

**現在の住生活に対する満足度**

**【指標の定義】**

現在の住生活に対して満足している（「満足している」＋「まあ満足している」）人の割合

単位：%

※広域ブロックの境界が異なるため、内閣府で定義している分類を使用

**【データ出典】**

内閣府「国民生活に関する世論調査」

**【指標設定の視点】**

地球環境や地域の大気環境に配慮した、安らぎや利便性のみならず活力や魅力あふれる都市づくりの状況

**【モニタリング結果】**

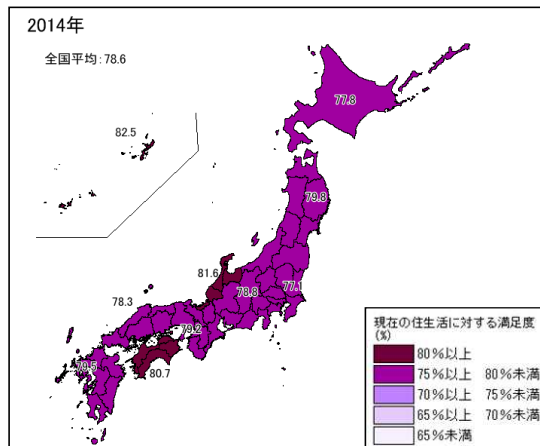
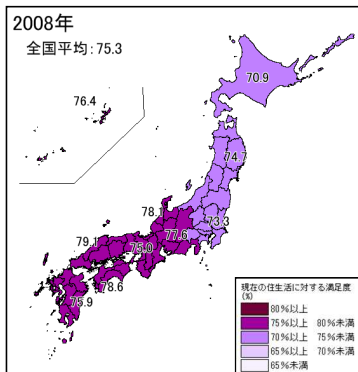
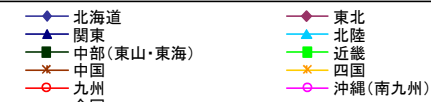
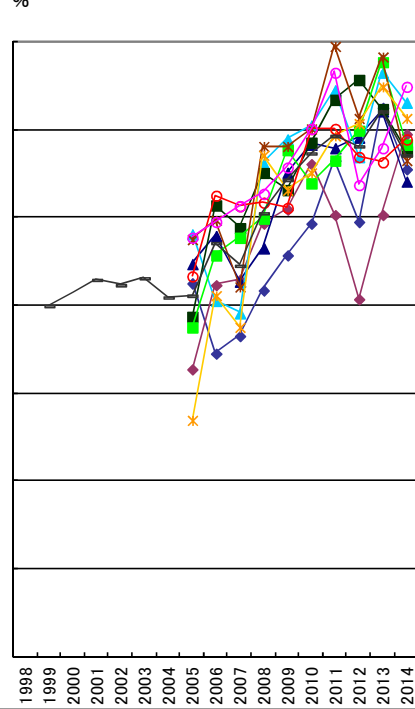
全国的には、平成26年（2014年）は平成20年（2008年）と比較して進展していると見られる。

広域ブロック別では、平成25年（2013年）は平成20年（2008年）と比較して、中国圏を除いたいずれの広域ブロックにおいても進展していると見られる。中国圏に関しては、2013年までは増加傾向にあったが2014年で減少に転じた。

**【指標の動向】**

全国値は、2005年以降増加傾向にあったが、2012年に続き、2014年は首都圏、近畿圏、中国圏等の減少の影響もあり前年比で減少となった。

現在の住生活に対する満足度



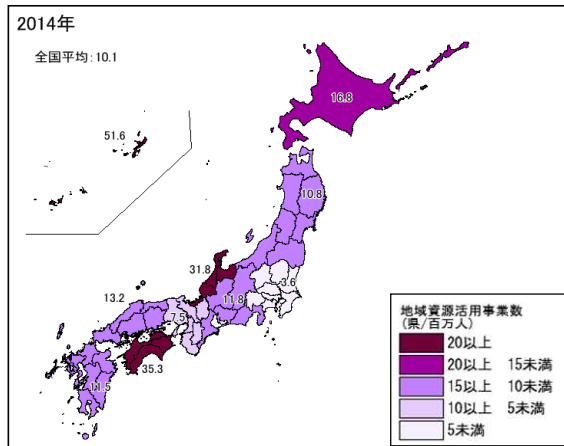
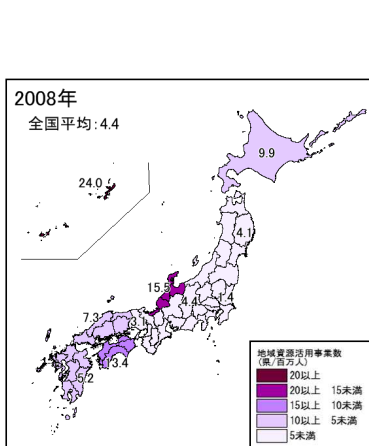
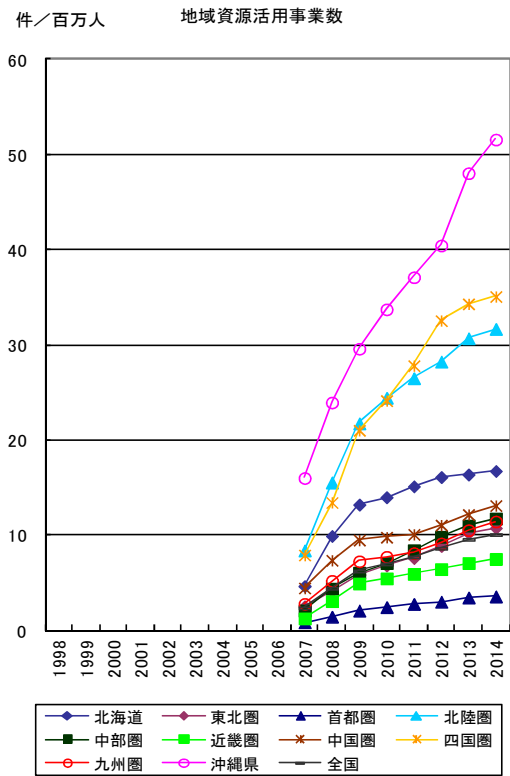
サブ戦略的目標（２）：地域資源を活かした産業の活性化

**戦略的目標２：持続可能な地域の形成**

**サブ戦略的目標（２）：地域資源を活かした産業の活性化**

**【代表指標】**  
**地域資源活用事業数**  
**【指標の定義】**  
 地域資源を活用した（※）企業の事業計画数（ブロック内人口当たり）  
 ※地域資源：「中小企業による地域産業資源を活用した事業活動の促進に関する法律」に基づき各都道府県が定めた以下の資源のいずれかを示す。  
 ①地域の特産物として相当程度認識されている「農林水産物」又は「鉱工業品」  
 ②地域の特産物として相当程度認識されている「鉱工業品」の生産に係る技術  
 ③文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の「観光資源」として相当程度認識されているもの  
 単位：件／百万人  
**【データ出典】**  
 中小企業庁ホームページ「地域資源活用チャンネル」  
 総務省統計局「人口推計」  
**【指標設定の視点】**  
 地域資源を活用した産業の発生状況

**【モニタリング結果】**  
 全国的には、平成26年（2014年）は平成20年（2008年）と比較して進展していると見られる。  
 広域ブロック別では、平成26年（2014年）は平成20年（2008年）と比較して、いずれの広域ブロックにおいても進展していると見られる。  
**【指標の動向】**  
 全国及び各広域ブロックの値は、2007年以降一貫して増加している。



サブ戦略的目標（3）：美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開

**戦略的目標2：持続可能な地域の形成**

サブ戦略的目標（3）：美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開

**【代表指標】**  
**農林水産物の輸出額**

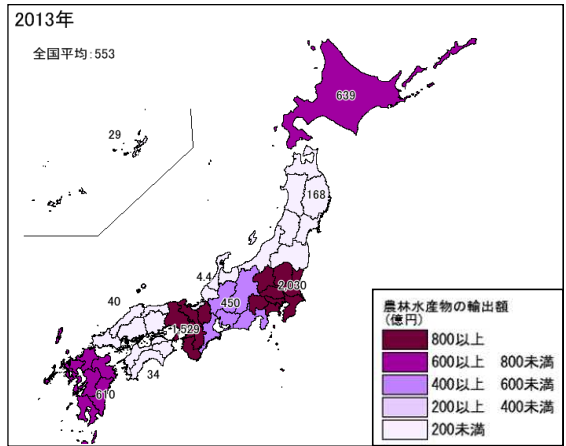
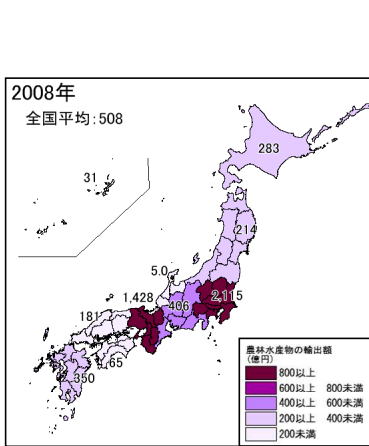
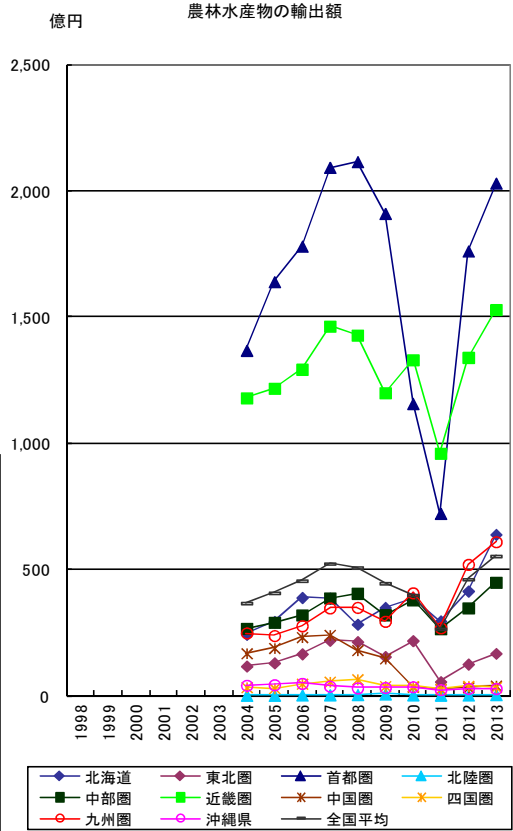
**【指標の定義】**  
 各広域ブロックからの農林水産物の輸出額  
 単位：億円  
 ※広域ブロック毎の値は、輸出時の税関の所在地で分類

**【データ出典】**  
 財務省「貿易統計」  
 ※農林水産物の品目：農林水産省「農林水産物の輸入・輸出に関する統計」による分類を参考に集計

**【指標設定の視点】**  
 農山漁村の生活を支える農林水産業の競争力

**【モニタリング結果】**  
 全国的には、平成25年（2013年）は平成20年（2008年）と比較して進展していると見られる。  
 広域ブロック別では、平成25年（2013年）は平成20年（2008年）と比較して、北海道、中部圏、近畿圏、九州圏においては進展していると見られるが、その他の地域（東北圏、首都圏、北陸圏、中国圏、四国圏、沖縄県）においては、進展していると見られない。

**【指標の動向】**  
 全国値は、2007年をピークに減少傾向にあったが、2012年以降は対前年比で増加傾向となり、2013年に2004年以降で最大の額となった。2012年以降の広域ブロックの前年比は、四国圏と沖縄県を除く全域で増加している。



サブ戦略的目標（４）：地域間の交流・連携と地域への人の誘致・移動の促進

**戦略的目標２：持続可能な地域の形成**

サブ戦略的目標（４）：地域間の交流・連携と地域への人の誘致・移動の促進

**【代表指標】**  
**ブロック内地域間時間距離**

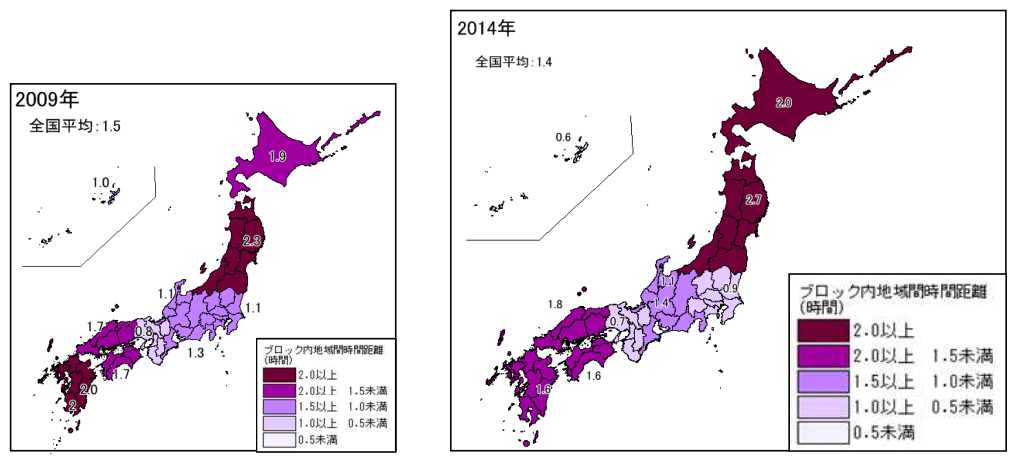
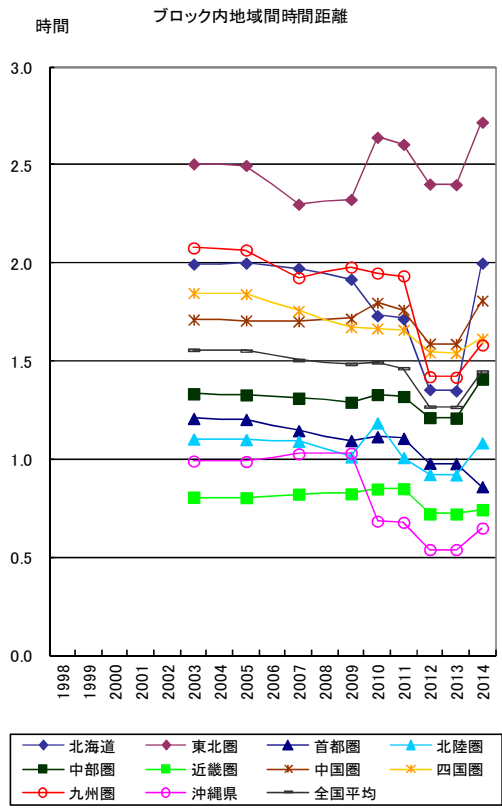
**【指標の定義】**  
 各広域ブロック内の各市区町村から広域ブロック中心都市への移動に要する時間距離に発地区市区町村の人口の重み付けをした値  
 単位：時間

**【データ出典】**  
 都市圏域：国土交通省「総合交通分析システム（NITAS）」  
 人口：総務省「国勢調査」  
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」

**【指標設定の視点】**  
 地域間の交流・連携を促進する環境の提供状況

**【モニタリング結果】**  
 全国的には、平成26年（2014年）は平成21年（2009年）と比較して、進展していると見られる。  
 広域ブロック別では、平成25年（2013年）は平成21年（2009年）と比較して、首都圏、近畿圏、四国圏、沖縄県においては、進展していると見られるが、北海道、東北圏、北陸圏、中部圏、中国圏においては、進展していると見られない。

**【指標の動向】**  
 全国値は2013年までは減少傾向で推移している。いずれの広域ブロックにおいても2011年から2013年に減少傾向にあったが、2014年に首都圏を除く全てのブロックにおいて増加に転じた。



1-3 戦略的目標3：災害に強いしなやかな国土の形成

サブ戦略的目標（1）：減災の観点も重視した災害対策の推進

戦略的目標3：災害に強いしなやかな国土の形成

サブ戦略的目標（1）：減災の観点も重視した災害対策の推進

【代表指標】

自主防災組織活動カバー率

【指標の定義】

自主防災組織がカバーする世帯の割合  
 分母：当該広域ブロック内総世帯数  
 分子：自主防災組織がカバーする世帯数  
 単位：%

【データ出典】

総務省消防庁「消防白書」

【指標設定の視点】

減災を重視したソフト防災システムの形成状況

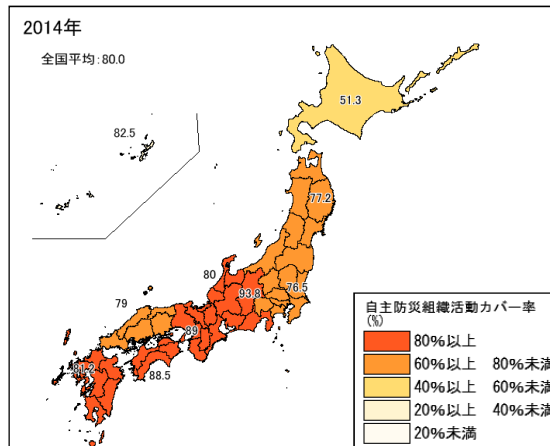
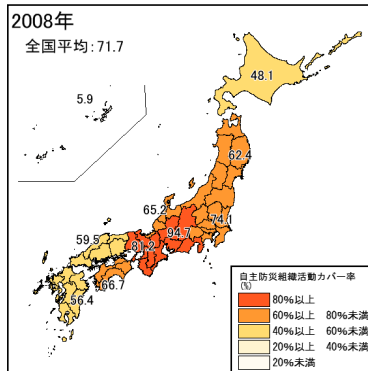
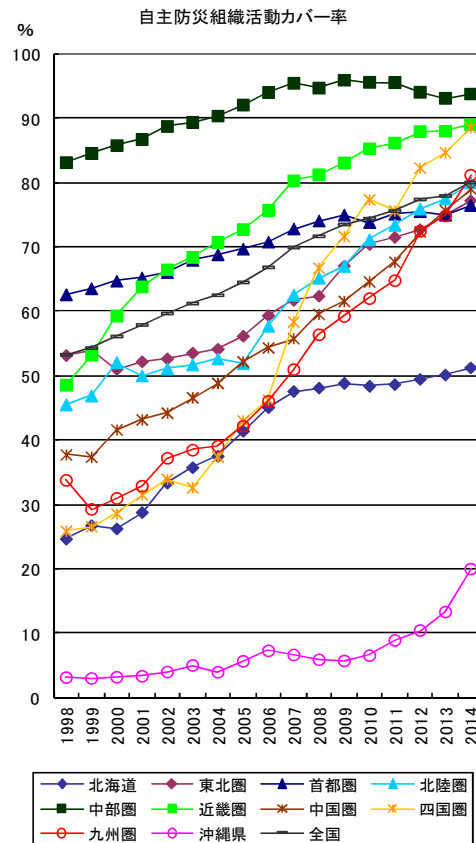
【モニタリング結果】

全国的には、平成26年（2014年）は平成20年（2008年）と比較して、進展していると見られる。

広域ブロック別では、平成26年（2014年）は平成20年（2008年）と比較して、北海道、東北圏、首都圏、北陸圏、近畿圏、中国圏、四国圏、九州圏、沖縄県においては、進展していると見られるが、中部圏においては、進展していないと見られない。

【指標の動向】

全国的に増加傾向が見られている。中部圏では、2010年以降漸減していたが、2014年には対前年比で増加となった。これは岐阜県を除く4県が上昇に転じたためである。



サブ戦略的目標（２）：災害に強い国土構造への再構築

戦略的目標３：災害に強いしなやかな国土の形成

サブ戦略的目標（２）：災害に強い国土構造への再構築

【代表指標】

災害被害額

【指標の定義】

広域ブロック内人口一人当たりの災害被害額の実績  
 (単位：円/人)  
 ※災害：暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、火山噴火、  
 その他異常な自然現象

【データ出典】

災害被害額：総務省消防庁「消防白書」  
 人口：総務省「国勢調査」  
 総務省「推計人口」（国勢調査の中間年）

【指標設定の視点】

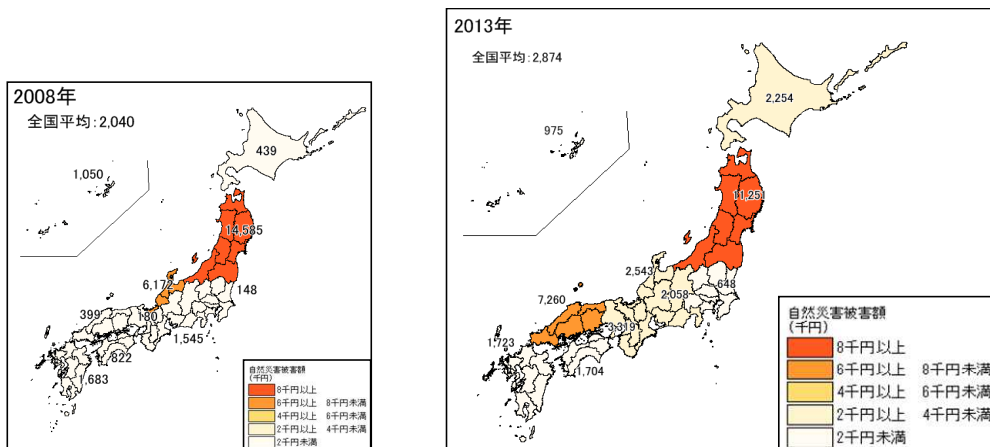
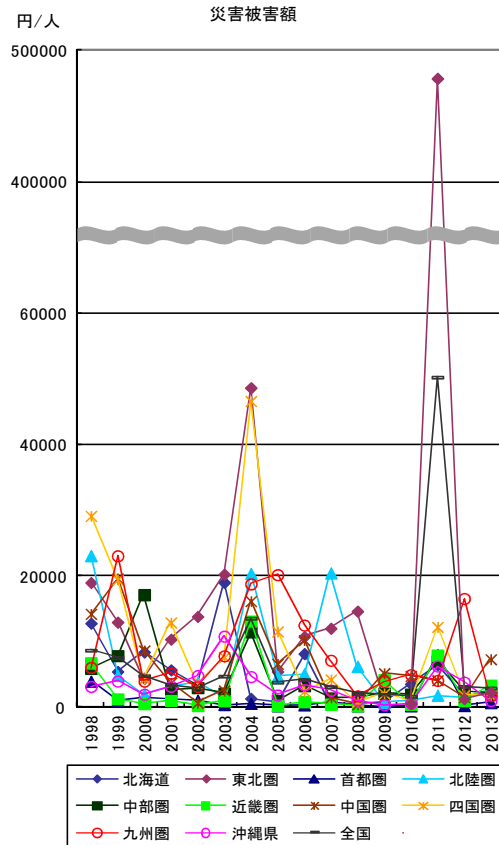
災害による被害の軽減状況

【モニタリング結果】

全国的には、平成25年（2013年）は平成20年（2008年）と比較して、進展していると見られない。  
 広域ブロック別では、平成25年（2013年）は平成20年（2008年）と比較して、東北圏、北陸圏、沖縄県においては進展していると見られるが、北海道、首都圏、中部圏、近畿圏、中国圏、四国圏、九州圏においては、進展していると見られない。

【指標の動向】

2011年3月に発生した東日本大震災は未曾有の被害をもたらしたが、2012年以降の全国は大幅に減少した。広域ブロック別にみると、北海道、東北圏、首都圏、北陸圏、近畿圏、中国圏に関しては対前年比で増加しており、特に2013年7月28日に中国圏で発生した島根県、山口県の豪雨により、中国圏の被害額は前年の4.8倍に増大した。



1-4 戦略的目標4：美しい国土の管理と継承

サブ戦略的目標（1）：循環と共生を重視し適切に管理された国土の形成

戦略的目標4：美しい国土の管理と継承

サブ戦略的目標（1）：循環と共生を重視し適切に管理された国土の形成

【代表指標】

環境効率性

【指標の定義】

わが国のCO<sub>2</sub>排出量／実質国内総生産  
 単位：kg-CO<sub>2</sub>/百万円

【データ出典】

CO<sub>2</sub>排出量：独立行政法人国立環境研究所ホームページ  
 国内総生産：内閣府「国民経済計算」  
 ※2013年のCO<sub>2</sub>排出量は速報値

【指標設定の視点】

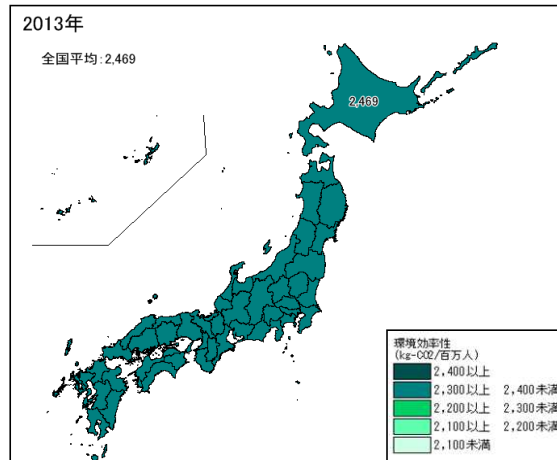
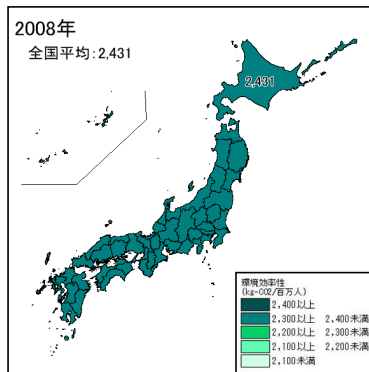
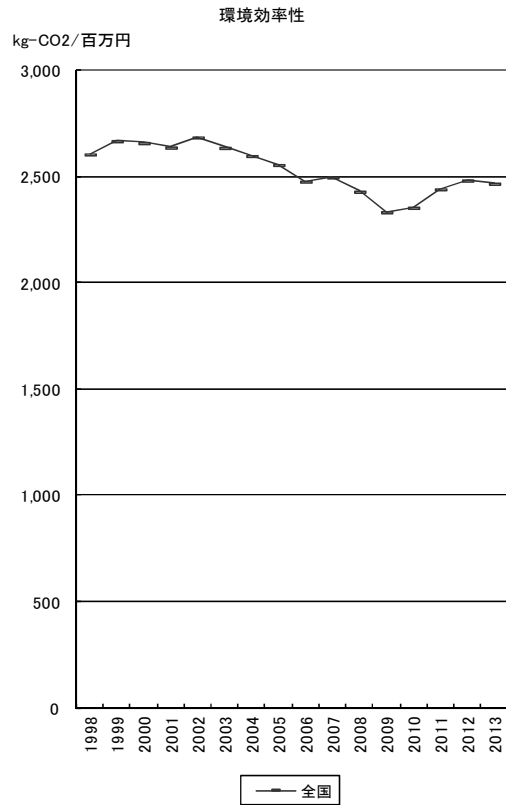
循環と共生を重視した社会の構築状況

【モニタリング結果】

全国的には、平成25年（2013年）は平成20年（2008年）と比較して進展していると見られない。

【指標の動向】

2007年から減少を続けて、2009年を底として増加傾向に転じ、2013年も増加した。これは、CO<sub>2</sub>排出量の伸びが国内総生産の伸びを上回っていると考える。





サブ戦略的目標（２）：流域圏における国土利用と水循環系の管理

戦略的目標４：美しい国土の管理と継承

サブ戦略的目標（２）：流域圏における国土利用と水循環系の管理

【代表指標】

公共用水域における環境基準達成率

【指標の定義】

全国の類型指定水域（河川、湖沼、海域）におけるBOD（河川）またはCOD（湖沼、海域）の測定結果のうち、環境基準を達成している水域の割合  
 分母：測定結果が公表されている全水域  
 分子：環境基準を達成している水域  
 単位：%

【データ出典】

環境省「公共用水域の水質測定」

【指標設定の視点】

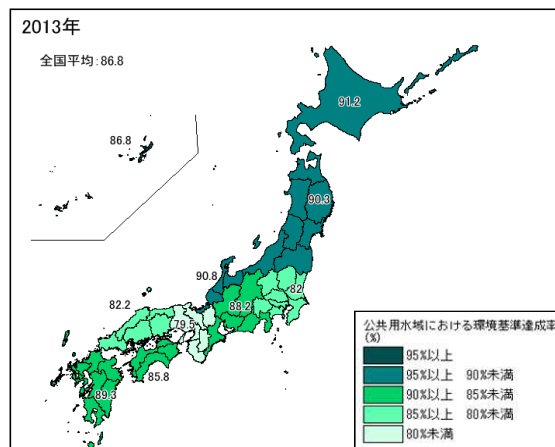
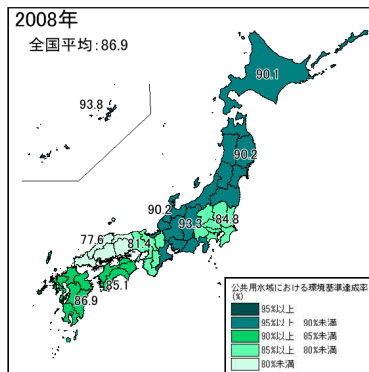
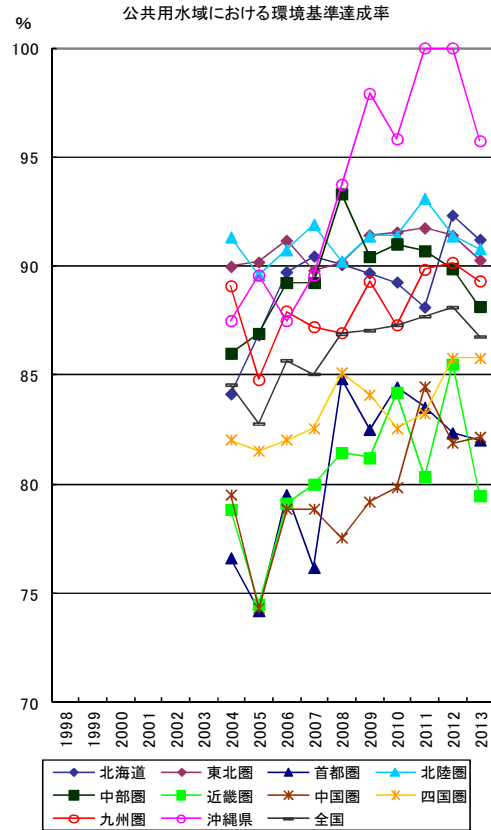
流域圏における総合的な水循環系の形成状況

【モニタリング結果】

全国的には、平成25年（2013年）は平成20年（2008年）と比較して進展していると見られない。  
 広域ブロック別では、平成25年（2013年）は平成20年（2008年）と比較して、北海道、東北圏、北陸圏、中国圏、四国圏、九州圏、沖縄県においては、進展していると見られるが、首都圏、中部圏、近畿圏においては、進展していると見られない。

【指標の動向】

全国値は2008年以降増加傾向にあったが、2013年は対前年比で減少した。これは、中国圏と四国圏を除く8圏域で達成率が低下したためである。



サブ戦略的目標（3）：海域の適正な利用と保全

戦略的目標4：美しい国土の管理と継承

サブ戦略的目標（3）：海域の適正な利用と保全

【代表指標】

沿岸域毎の水質基準達成率

【指標の定義】

都道府県別の海域別の環境基準（COD）達成水域の割合  
単位：%

【データ出典】

環境省「公共用水域の水質測定」

【指標設定の視点】

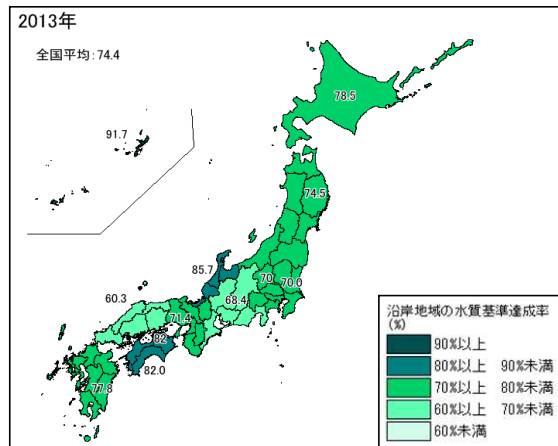
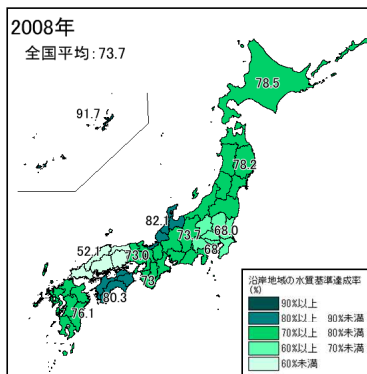
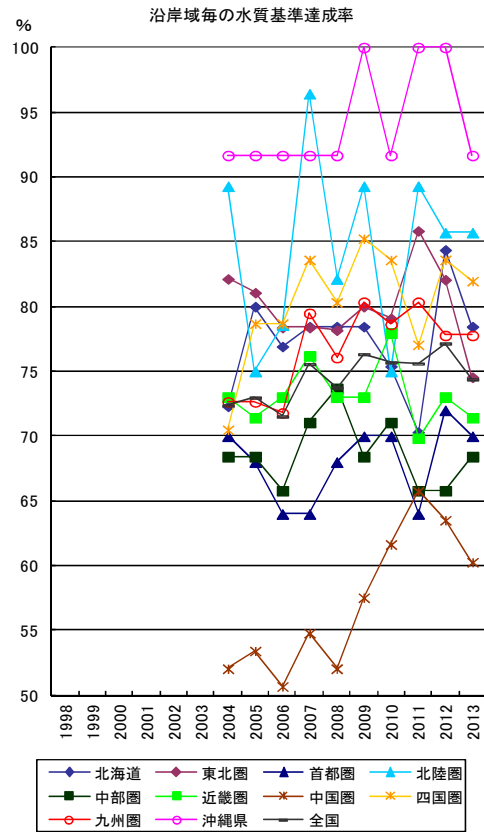
海からの恩恵の将来世代への継承の状況

【モニタリング結果】

全国的には、平成25年（2013年）は平成20年（2008年）と比較して、進展していると見られる。  
広域ブロック別では、平成25年（2013年）は平成20年（2008年）と比較して、首都圏、北陸圏、中国圏、四国圏、九州圏においては、進展していると見られるが、北海道、東北圏、中部圏、近畿圏、沖縄県においては、進展していると見られない。

【指標の動向】

全国値は2013年に対前年比で減少した。特に北海道、東北圏、沖縄県では大幅に減少しており、増加は中部圏のみである。



サブ戦略的目標（４）：魅力あふれる国土の形成と国土の国民的経営

戦略的目標４：美しい国土の管理と継承

サブ戦略的目標（４）：魅力あふれる国土の形成と国土の国民的経営

【代表指標】

「国土の国民的経営」に向けた取組の参加率

【指標の定義】

一般国民を対象としたアンケート調査において、市民参加型の森林や農地等の管理・保全活動、地域自然資源の積極的な活用、都市内低未利用地の有効活用などを行っていると感じた一般国民の割合  
 分母：一般国民を対象としたアンケート調査の回答者数  
 分子：いずれかを行っていると感じた回答者数  
 単位：%

【データ出典】

独自調査（一般国民を対象とした意識調査：問5）

【指標設定の視点】

美しい国土の管理と地域文化の保全・継承の状況

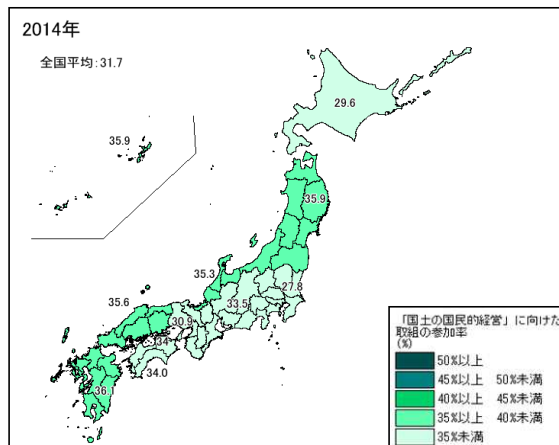
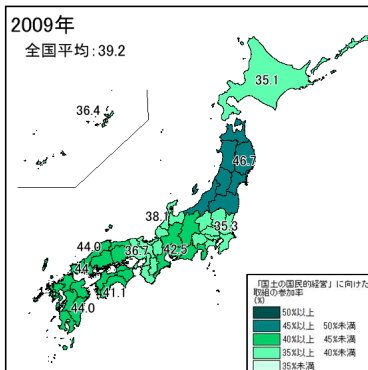
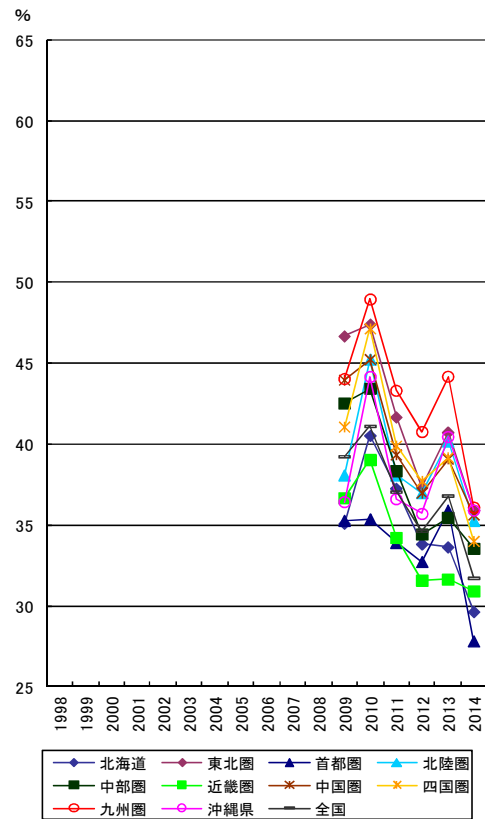
【モニタリング結果】

全国的には、平成26年（2014年）は平成21年（2009年）と比較して進展していると見られない。  
 広域ブロック別でも、平成26年（2014年）は平成21年（2009年）と比較して、全てのブロックにおいて進展していると見られない。

【指標の動向】

全国と広域ブロックは多少の増減はあるが概ね減少傾向にある。また、すべてのブロックで2014年の対前年比が減少した。  
 「地元農産物や地域材で作られた製品の購入」という回答が平成24年から平成25年にかけて大幅に増加していたが、平成26年には減少している。また「特にない」という回答が増加している。

「国土の国民的経営」に向けた取組の参加率



1-5 戦略的目標5：「新たな公」を基軸とする地域づくり

サブ戦略的目標（1）：「新たな公」を基軸とする地域づくりのシステム

戦略的目標5：「新たな公」を基軸とする地域づくり

サブ戦略的目標（1）：「新たな公」を基軸とする地域づくりのシステム

【代表指標】

「新たな公」による地域づくり活動進展度

【指標の定義】

地方自治体を対象としたアンケート調査において、「地域コミュニティ、NPO、企業などの多様な民間主体の主体的な地域づくりへの参加が進んでいる」と回答した地方自治体の割合  
 分母：地方自治体を対象としたアンケート調査の回答地方自治体数

分子：進んでいる（「かなり進んでいる」＋「少し進んでいる」）と回答した地方自治体数  
 単位：%

【データ出典】

独自調査（地方自治体を対象とした意識調査：問12(1)）

【指標設定の視点】

地域づくりにおける「新たな公」の活動状況

【モニタリング結果】

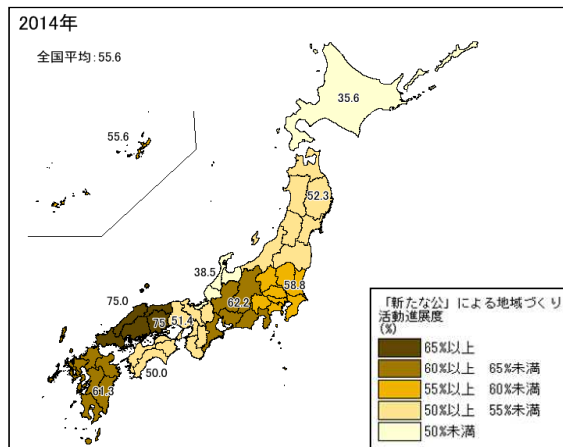
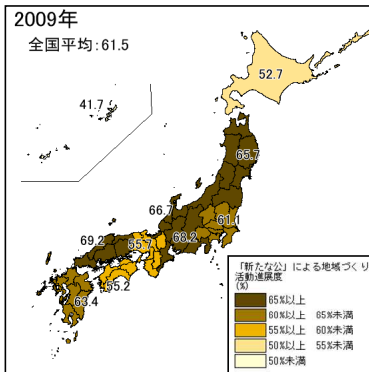
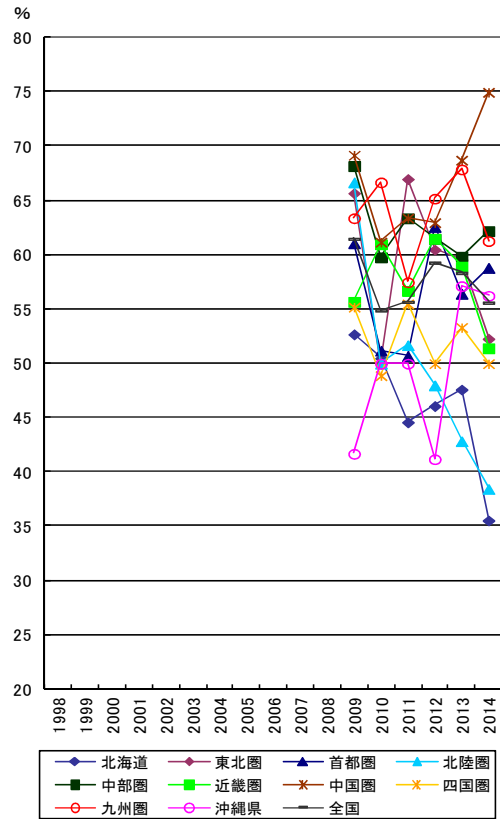
全国的には、平成26年（2014年）は平成21年（2009年）と比較して進展していると見られない。

広域ブロック別では、平成26年（2014年）は平成21年（2009年）と比較して、中国圏、沖縄県においては進展していると見られるが、北海道、東北圏、首都圏、北陸圏、中部圏、近畿圏、四国圏、九州圏においては進展していると見られない。

【指標の動向】

全国的に「かなり進んでいる」「少し進んでいる」と肯定的な回答をした地方自治体数は、2011年～2012年で増加したが、2013年～2014年で減少に転じた。2014年の減少率が高いのは、回答数が2013年から低下したためであると考えられる。

「新たな公」による地域づくり活動進展度



サブ戦略的目標（２）：多様な民間主体の発意・活動を重視した自助努力による地域づくり

**戦略的目標５：「新たな公」を基軸とする地域づくり**

サブ戦略的目標（２）：多様な民間主体の発意・活動を重視した自助努力による地域づくり

**【代表指標】**  
**「新たな公」による地域づくり活動参加率**

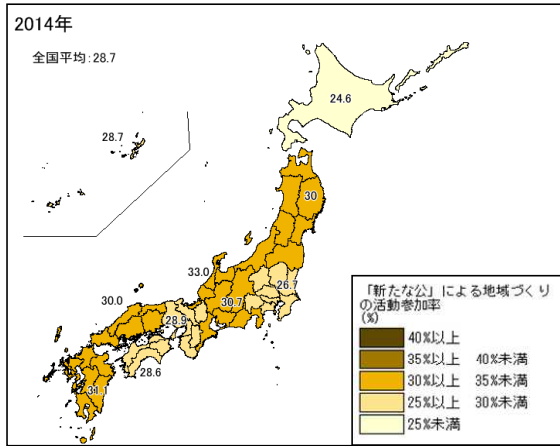
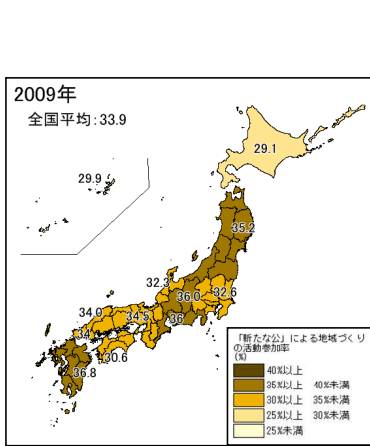
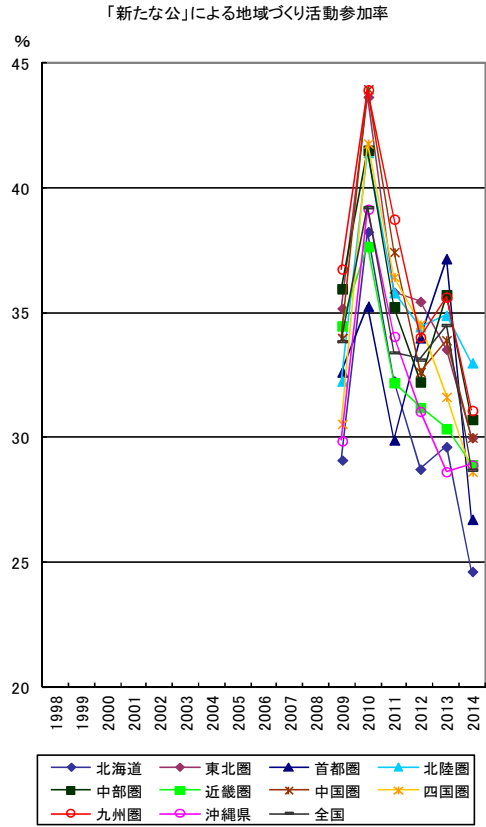
**【指標の定義】**  
 一般国民を対象としたアンケート調査において、「『新たな公』による活動に参加している」と回答した一般国民の割合  
 分母：一般国民を対象としたアンケート調査の回答者数  
 分子：いずれかに参加していると答えた回答者数  
 単位：%

**【データ出典】**  
 独自調査（一般国民を対象とした意識調査：問8）

**【指標設定の視点】**  
 人々の地域づくりへの参加状況

**【モニタリング結果】**  
 全国的には、平成26年（2014年）は平成21年（2009年）と比較して進展していると見られない。  
 広域ブロック別では、平成26年（2014年）は平成21年（2009年）と比較して、北陸圏では、進展していると見られるが、北海道、東北圏、首都圏、中部圏、近畿圏、中国圏、四国圏、九州圏、沖縄県では進展していると見られない。

**【指標の動向】**  
 全国と首都圏を除く各ブロックは2010年以降減少傾向にある。首都圏は2010年、2012年、2013年と上昇していたが2014年に対前年比で10ポイント以上の大幅な下落となった。



## (2) 参考指標

## 1-6 戦略的目標 1：東アジアとの円滑な交流・連携

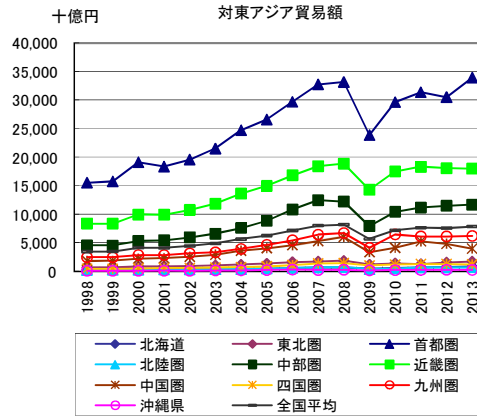
### サブ戦略的目標（1）：東アジアネットワーク型の産業構造下における我が国産業の強化

**【参考指標】**  
**対東アジア貿易額**

**【指標の定義】**  
 対東アジア諸国の我が国の輸出入額  
 単位：十億円  
 ※東アジア：日本、中国、韓国、台湾、ASEAN10、ロシア、インド、オーストラリア、ニュージーランド

**【データ出典】**  
 財務省「貿易統計」

**【指標設定の視点】**  
 経済・産業面での東アジアとの交流・連携状況

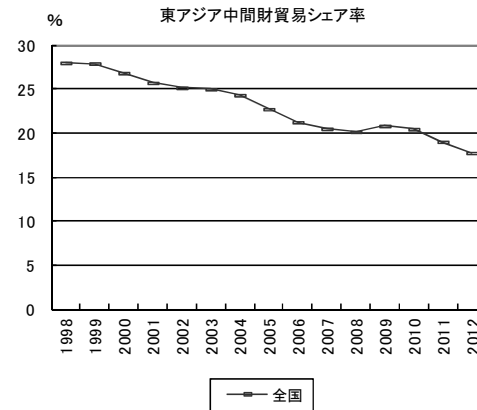


**【参考指標】**  
**東アジア中間財貿易シェア率**

**【指標の定義】**  
 東アジア域内の中間財輸出額における我が国のシェア  
 単位：％  
 ※東アジア：日本、中国、韓国、台湾、ASEAN10、ロシア、インド、オーストラリア、ニュージーランド

**【データ出典】**  
 独立行政法人経済産業研究所「RIETI-TID2012」

**【指標設定の視点】**  
 経済・産業面での東アジアとの交流・連携状況

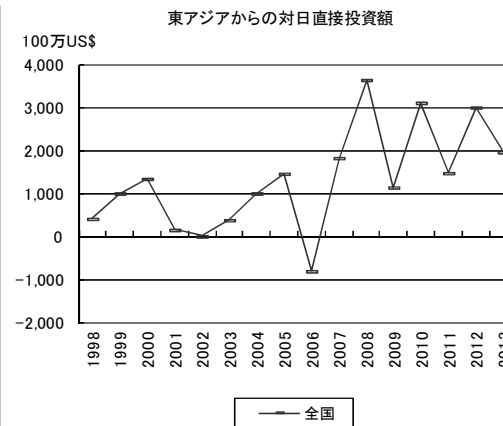


**【参考指標】**  
**東アジアからの対日直接投資額**

**【指標の定義】**  
 日本の東アジアからの対日直接投資（国際収支ベース、ネット、フロー）  
 単位：100万US\$  
 ※東アジア：日本、中国、韓国、台湾、ASEAN10、ロシア、インド、オーストラリア、ニュージーランド

**【データ出典】**  
 独立行政法人日本貿易振興機構ホームページ「直接投資統計」

**【指標設定の視点】**  
 経済・産業面での東アジアとの交流・連携状況



**【参考指標】**

**世界の貿易額に占める東アジアの割合**

**【指標の定義】**

世界の貿易額における東アジアのシェア

単位：%

※東アジア：日本、中国（香港、マカオを含む）、韓国、台湾、ASEAN10、ロシア、インド、オーストラリア、ニュージーランド

※IMF「Direction of Trade」には台湾のデータは含まれない

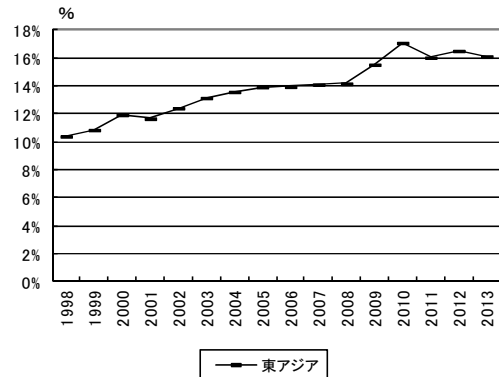
**【データ出典】**

IMF「DOT (Direction of Trade)」

**【指標設定の視点】**

経済・産業面での東アジアとの交流・連携状況

世界の貿易額に占める東アジアの割合



サブ戦略的目標（２）：東アジアの共通課題への取組、文化交流、人材育成

**【参考指標】**

**東アジア入国者数**

**【指標の定義】**

東アジアから日本への入国者数

単位：千人

※広域ブロックは、入国審査の際に使用した空港、海港の所在地で分類

※東アジア：中国、韓国、台湾、ASEAN10、ロシア、インド、オーストラリア、ニュージーランド

※過年度データからシンガポール、マレーシア、ブルネイ、ミャンマー、ラオス、カンボジアのデータは収集できないため、本年度も収集しない。

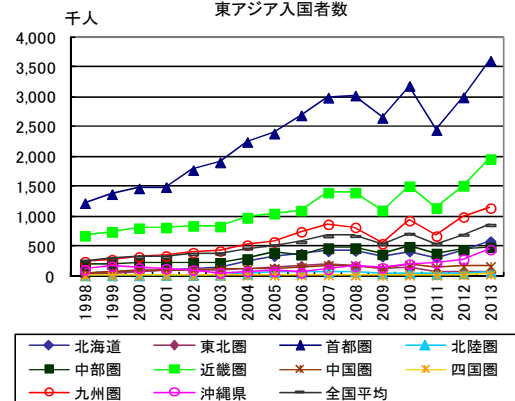
**【データ出典】**

法務省「出入国管理統計」

**【指標設定の視点】**

東アジアとの人的交流の状況

東アジア入国者数



**【参考指標】**

**東アジア留学人口**

**【指標の定義】**

東アジアから日本への留学生数

単位：千人

※東アジア：中国、韓国、台湾、ASEAN10、ロシア、インド、オーストラリア、ニュージーランド

※日本語教育機関に在籍の外国人留学生は除く

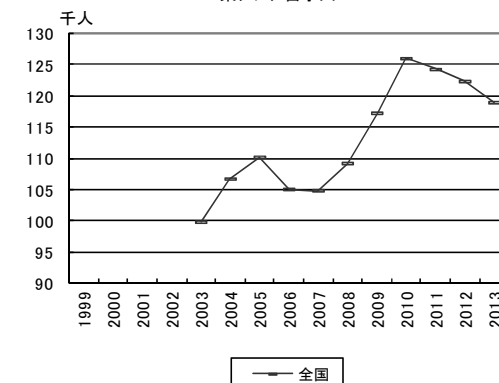
**【データ出典】**

独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」

**【指標設定の視点】**

東アジアとの人的交流の状況

東アジア留学人口





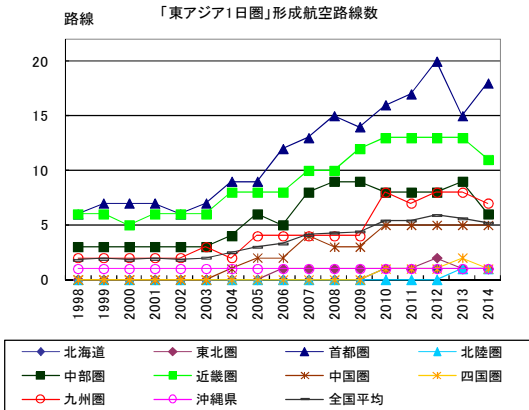
サブ戦略的目標（3）：円滑な交流・連携のための国土基盤の形成

**【参考指標】**  
**「東アジア1日圏」形成航空路線数**

**【指標の定義】**  
 出発した当日に到着して、一定の用務を行うことができる東アジアの都市への航空路線数  
 単位：路線  
 ※東アジア：日本、中国、韓国、台湾、ASEAN10、ロシア、インド、オーストラリア、ニュージーランド

**【データ出典】**  
 JTB時刻表

**【指標設定の視点】**  
 東アジアの準域内化を促進する交通基盤の整備状況

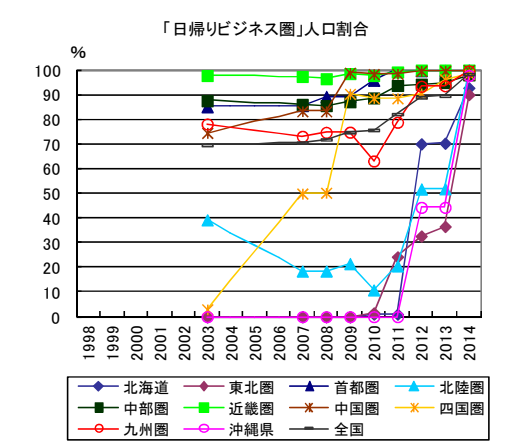


**【参考指標】**  
**「日帰りビジネス圏」人口割合**

**【指標の定義】**  
 東アジアのいずれかの主要都市へ日帰り可能な日本の地域に居住する人口割合  
 単位：％  
 ※東アジア：日本、中国、韓国、台湾、ASEAN10、ロシア、インド、オーストラリア、ニュージーランド

**【データ出典】**  
 航空ダイヤ：JTB時刻表  
 都市圏域：国土交通省「総合交通分析システム（NITAS）」  
 人口：総務省「国勢調査」  
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市町村別将来推計人口」

**【指標設定の視点】**  
 東アジアの準域内化を促進する交通基盤の整備状況

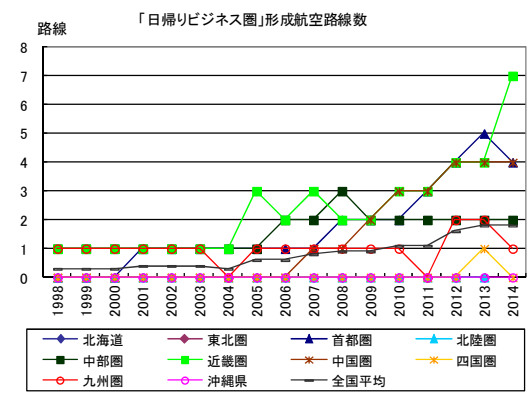


**【参考指標】**  
**「日帰りビジネス圏」形成航空路線数**

**【指標の定義】**  
 出張して用務を行い、当日帰国することができる東アジアの都市への航空路線数  
 単位：路線  
 ※東アジア：日本、中国、韓国、台湾、ASEAN10、ロシア、インド、オーストラリア、ニュージーランド  
 ※過年度データからASEAN10、ロシア、インド、オーストラリア、ニュージーランドのデータは収集できないため、本年度も収集しない。

**【データ出典】**  
 JTB時刻表

**【指標設定の視点】**  
 東アジアの準域内化を促進する交通基盤の整備状況



**【参考指標】**

**「貨物翌日配達圏」(船便のみ)人口割合**

**【指標の定義】**

東アジアのいずれかの主要都市に船便により翌日配達可能な日本の地域に居住する人口割合

単位：%

※国内の移動は、物流道路、物流鉄道を設定

**【データ出典】**

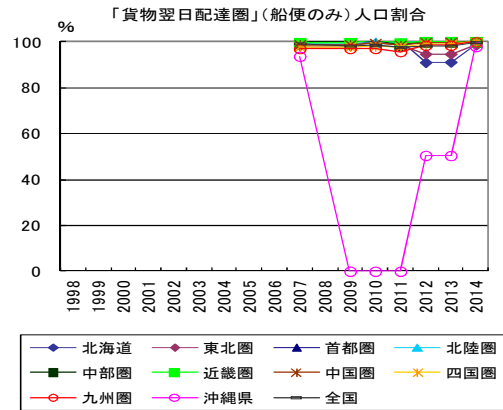
船ダイヤ：2014年版 貨物船とフェリーの時刻表 海上定期便ガイド

都市圏域：国土交通省「総合交通分析システム(NITAS)」

人口：総務省「国勢調査」  
国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」

**【指標設定の視点】**

東アジアの準域内化を促進する交通基盤の整備状況



## 1-7 戦略的目標 2：持続可能な地域の形成

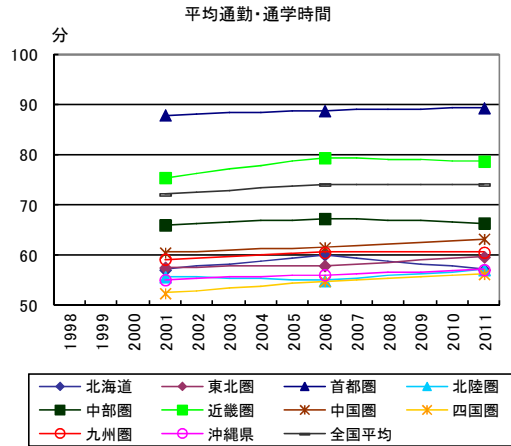
### サブ戦略的目標（1）：持続可能で暮らしやすい都市圏の形成

**【参考指標】**  
**平均通勤・通学時間**

**【指標の定義】**  
 平日通勤・通学を行う者が通勤・通学に要する時間の平均値  
 単位：分

**【データ出典】**  
 総務省「社会生活基本調査」

**【指標設定の視点】**  
 地球環境や地域の大気環境に配慮した、安らぎや利便性のみならず活力や魅力あふれる都市づくりの状況

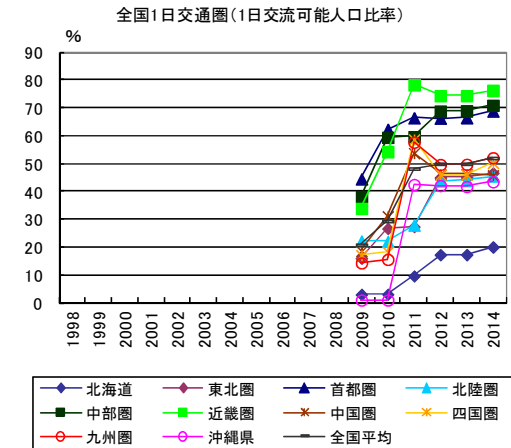


**【参考指標】**  
**全国1日交通圏（1日交流可能人口比率）**

**【指標の定義】**  
 当該生活圏の中心都市から日帰りで面会可能な人口の全国人口に対する割合  
 単位：%

**【データ出典】**  
 都市圏域：国土交通省「総合交通分析システム（NITAS）」  
 人口：総務省「国勢調査」  
 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」

**【指標設定の視点】**  
 地球環境や地域の大気環境に配慮した、安らぎや利便性のみならず活力や魅力あふれる都市づくりの状況

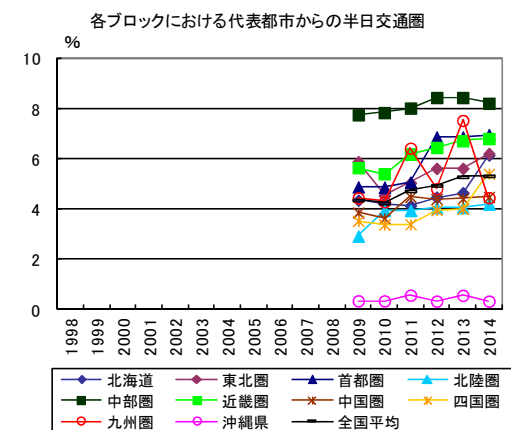


**【参考指標】**  
**各ブロックにおける代表都市からの半日交通圏**

**【指標の定義】**  
 各広域ブロックの代表都市から2時間以内にアクセスできる圏域（市区町村単位）が国土に締める割合  
 単位：%

**【データ出典】**  
 国土交通省「総合交通分析システム（NITAS）」

**【指標設定の視点】**  
 地球環境や地域の大気環境に配慮した、安らぎや利便性のみならず活力や魅力あふれる都市づくりの状況

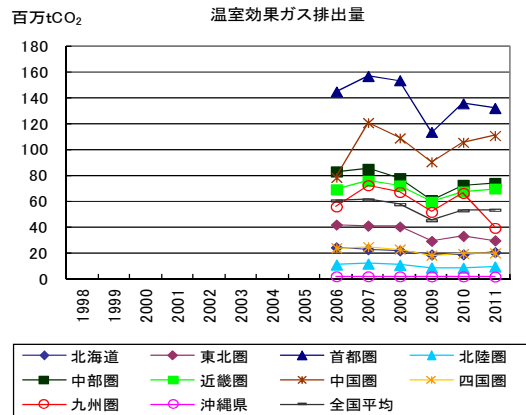


**【参考指標】**  
**温室効果ガス排出量**

**【指標の定義】**  
 特定排出者が排出する温室効果ガス（CO<sub>2</sub>、CH<sub>4</sub>、N<sub>2</sub>O、HFC、PFC、SF<sub>2</sub>）の特定事業所による排出量  
 単位：百万tCO<sub>2</sub>

**【データ出典】**  
 環境省「温室効果ガス排出量の集計結果」

**【指標設定の視点】**  
 地球環境や地域の気候環境に配慮した、安らぎや利便性のみならず活力や魅力あふれる都市づくりの状況



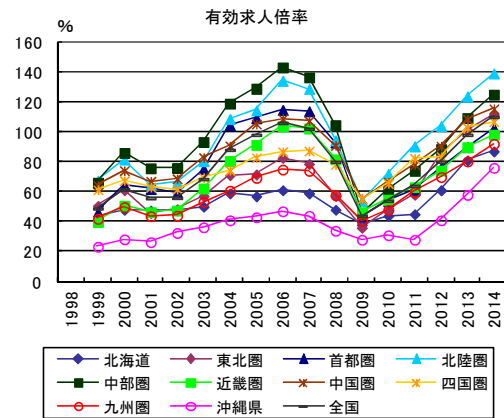
サブ戦略的目標（２）：地域資源を活かした産業の活性化

**【参考指標】**  
**有効求人倍率**

**【指標の定義】**  
 公共職業安定所で扱った月間有効倍率のブロック内都道府県の平均値  
 単位：%

**【データ出典】**  
 厚生労働省「職業安定業務統計」（2004年以後）  
 厚生労働省「労働市場年報」（2003年以前）

**【指標設定の視点】**  
 地域資源を活用した産業の発生状況

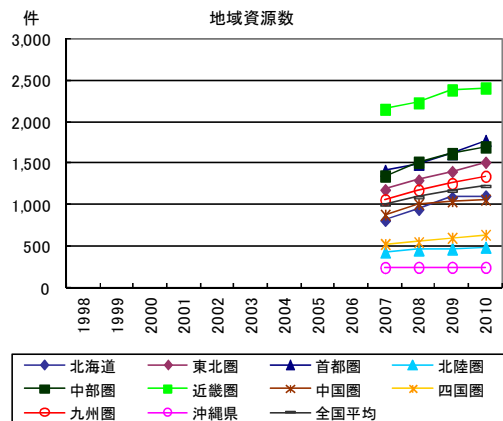


**【参考指標】**  
**地域資源数**

**【指標の定義】**  
 「地域産業資源活用基本構想」で認定された地域資源数  
 単位：件

**【データ出典】**  
 中小企業庁ホームページ

**【指標設定の視点】**  
 地域資源を活用した産業の発生状況



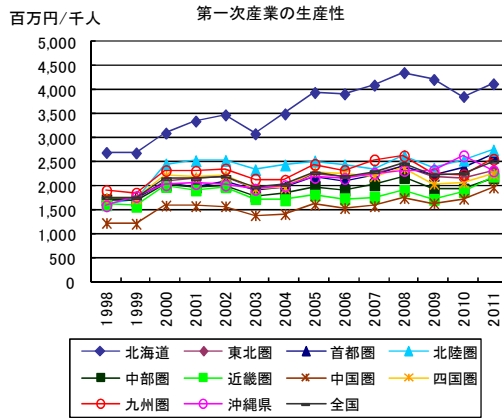
サブ戦略的目標（3）：美しく暮らしやすい農山漁村の形成と農林水産業の新たな展開

**【参考指標】**  
**第一次産業の生産性**

**【指標の定義】**  
 第一次産業従事者一人当たりの第一次産業の総生産  
 単位：百万円/千人

**【データ出典】**  
 第一次産業従事者：総務省「国勢調査」  
 第一次産業総生産：内閣府「県民経済計算」  
 ※第一次産業従事者は1999年以前は1995年の値、2000年～2004年は2000年の値、2005年以降は2005年の値を使用

**【指標設定の視点】**  
 農山漁村の生活を支える農林水産業の競争力

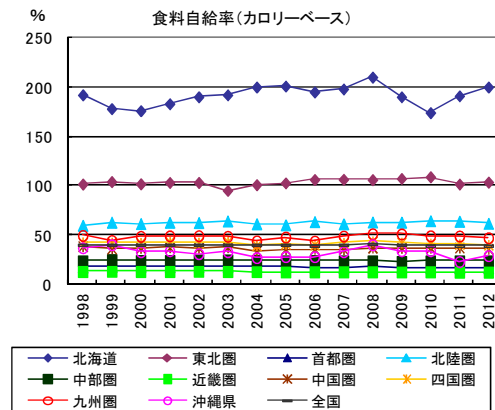


**【参考指標】**  
**食料自給率（カロリーベース）**

**【指標の定義】**  
 各都道府県民1人・1日あたり各都道府県産熱量/各都道府県民1人・1日当たり供給熱量×100  
 単位：%

**【データ出典】**  
 農林水産省ホームページ  
 人口：総務省統計局「人口推計」

**【指標設定の視点】**  
 農山漁村の生活を支える農林水産業の競争力



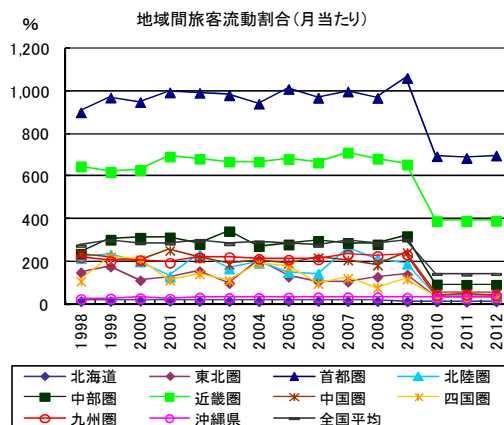
サブ戦略的目標（4）：地域間の交流・連携と地域への人の誘致・移動の促進

**【参考指標】**  
**地域間旅客流動割合（月当たり）**

**【指標の定義】**  
 各広域ブロックを発地とする都道府県間を移動する旅客流動量（ブロック内々含む）の各広域ブロックの夜間人口に対する割合  
 単位：%

**【データ出典】**  
 国土交通省「旅客地域流動調査」  
 人口：総務省「国勢調査」、総務省「人口推計」

**【指標設定の視点】**  
 地域間の交流・連携を促進する環境の提供状況



**【参考指標】**

**地域間貨物流動量**

**【指標の定義】**

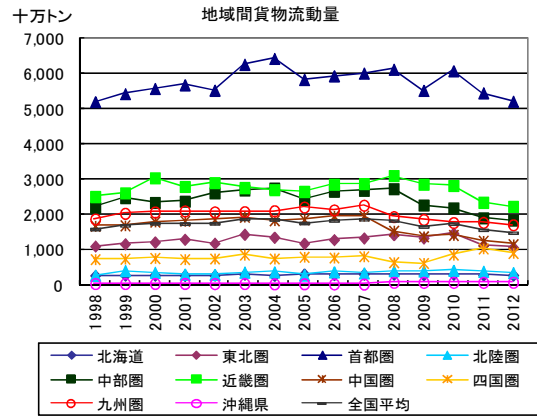
各広域ブロックを発地とする都道府県間を移動する貨物流動量  
単位：十万トン

**【データ出典】**

国土交通省「貨物地域流動調査」  
人口：総務省「国勢調査」、総務省「人口推計」

**【指標設定の視点】**

地域間の交流・連携を促進する環境の提供状況



**【参考指標】**

**ブロック間地域間時間距離**

**【指標の定義】**

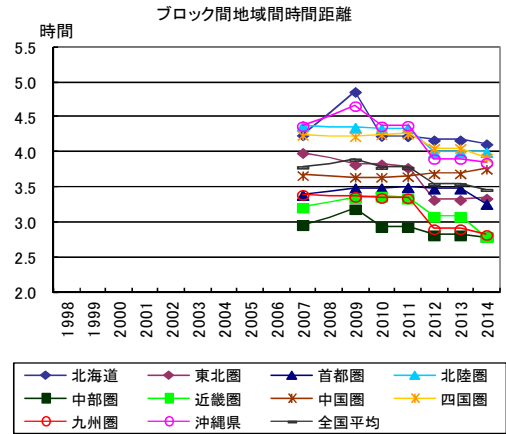
広域ブロック間の県庁所在地（各ブロックで代表1つ）間の移動に要する時間距離の平均値  
単位：時間

**【データ出典】**

時間距離：国土交通省「総合交通分析システム（NITAS）」  
人口：総務省「国勢調査」  
国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」

**【指標設定の視点】**

地域間の交流・連携を促進する環境の提供状況



**【参考指標】**

**国内延べ宿泊者数**

**【指標の定義】**

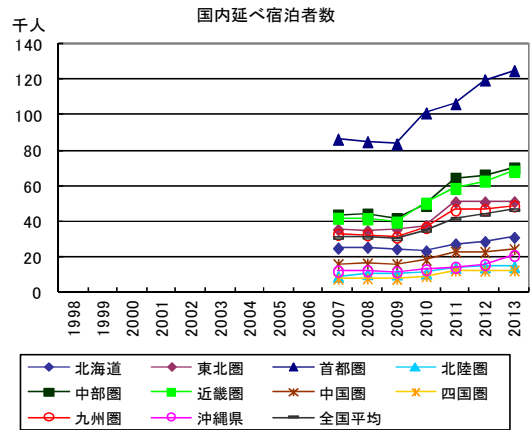
国内日本人宿泊旅行者、訪日外国人旅行者、一日交流可能人口  
単位：千人

**【データ出典】**

国土交通省「宿泊旅行統計調査」

**【指標設定の視点】**

地域間の交流・連携を促進する環境の提供状況



**【参考指標】**

**ブロードバンドサービスの契約数**

**【指標の定義】**

広域ブロック内のブロードバンドサービスの契約数の合計  
 単位：1万契約  
 ※2013年から公表値に「3.9世代携帯電話端末パケット通信サービス」が含まれるため値を更新しない

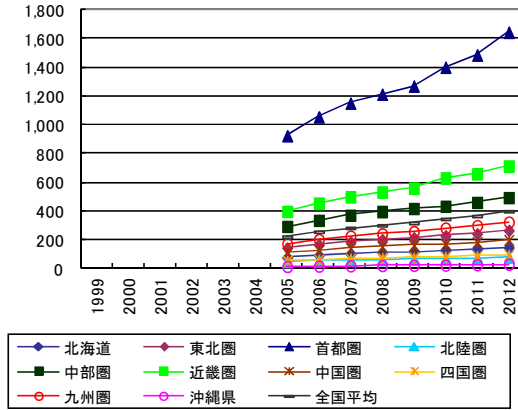
**【データ出典】**

総務省「情報通信統計データベース」

**【指標設定の視点】**

地域間の交流・連携を促進する環境の提供状況

万契約      ブロードバンドサービスの契約数



**【参考指標】**

**携帯電話の普及率**

**【指標の定義】**

広域ブロック内の携帯電話・PHSの普及率（人口あたりの加入者数）  
 単位：％  
 ※2007年以降はPHSの加入者数を除く  
 ※2013年から人口データに合わせ携帯電話の普及率の集計を12月末とした

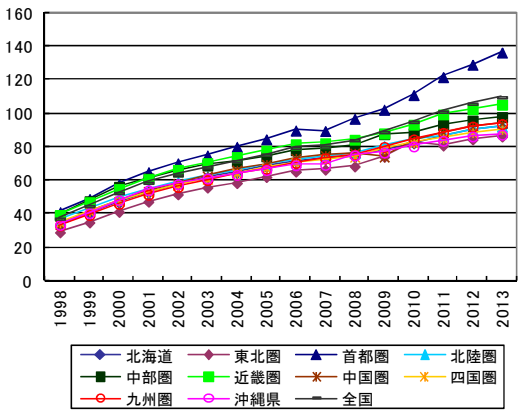
**【データ出典】**

総務省ホームページ  
 人口：総務省統計局「住民基本台帳」

**【指標設定の視点】**

地域間の交流・連携を促進する環境の提供状況

％      携帯電話の普及率



### 1-8 戦略的目標3：災害に強いしなやかな国土の形成

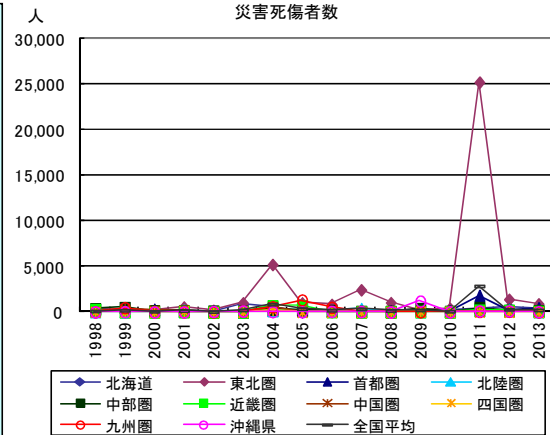
#### サブ戦略的目標（1）：減災の観点も重視した災害対策の推進

**【参考指標】**  
**災害死傷者数**

**【指標の定義】**  
 自然災害罹災者数  
 単位：人

**【データ出典】**  
 総務省消防庁「消防白書」

**【指標設定の視点】**  
 減災を重視したソフト防災システムの形成状況

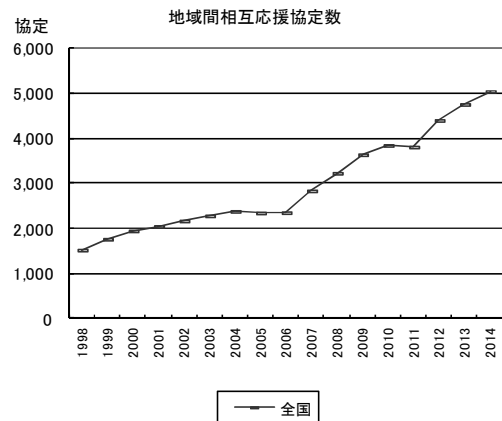


**【参考指標】**  
**地域間相互応援協定数**

**【指標の定義】**  
 都道府県間・市区町村間で災害時に応援を行なう相互協定を締結している協定数  
 単位：協定

**【データ出典】**  
 総務省消防庁「消防白書」

**【指標設定の視点】**  
 減災を重視したソフト防災システムの形成状況



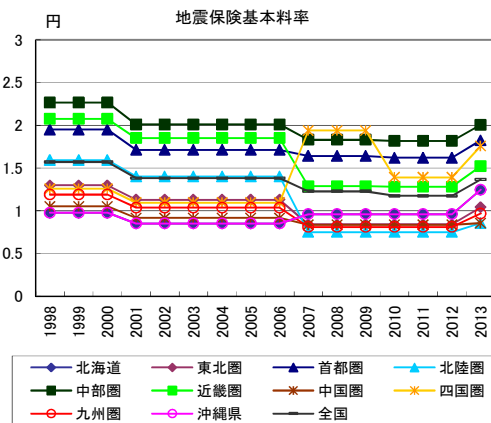
#### サブ戦略的目標（2）：災害に強い国土構造への再構築

**【参考指標】**  
**地震保険基本料率**

**【指標の定義】**  
 地震保険算定の基準となる地域別の料率（構造区分別の料率の平均値）  
 単位：円  
 ※保険期間1年間、保険金額1,000円にあたり基本料

**【データ出典】**  
 損害保険料算出機構「地震保険基準料率表」

**【指標設定の視点】**  
 災害による被害の軽減状況





## 1-9 戦略的目標4：美しい国土の管理と継承

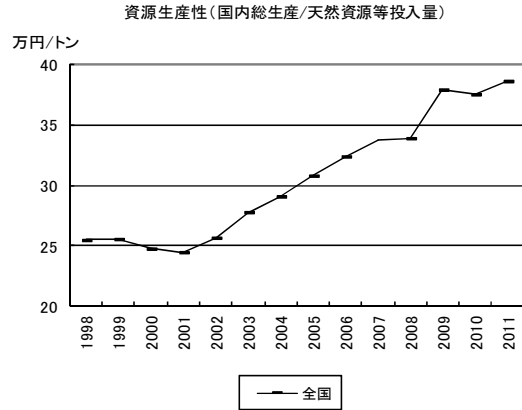
### サブ戦略的目標（1）：循環と共生を重視し適切に管理された国土の形成

**【参考指標】**  
**資源生産性（国内総生産／天然資源等投入量）**

**【指標の定義】**  
 国内総生産／天然資源等投入量  
 単位：万円／トン

**【データ出典】**  
 環境省「第3次循環型社会形成推進基本計画の進捗状況点検報告書」

**【指標設定の視点】**  
 循環と共生を重視した社会の構築状況

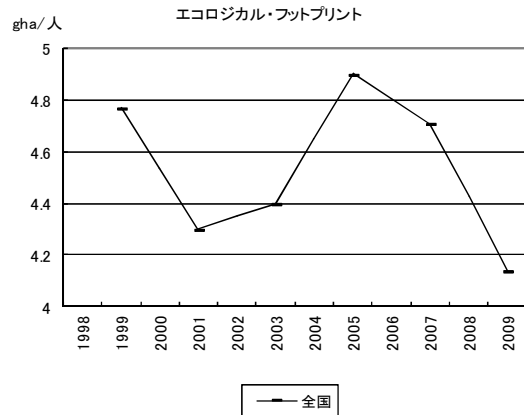


**【参考指標】**  
**エコロジカル・フットプリント**

**【指標の定義】**  
 消費されるエネルギー及び物質を供給し、排出される廃棄物を吸収するため、継続的に必要とする空間（土地と水域の面積）  
 単位：g h a / 人

**【データ出典】**  
 環境省「環境基本計画の点検」  
 WWF「Living Planet Report 2012」

**【指標設定の視点】**  
 循環と共生を重視した社会の構築状況

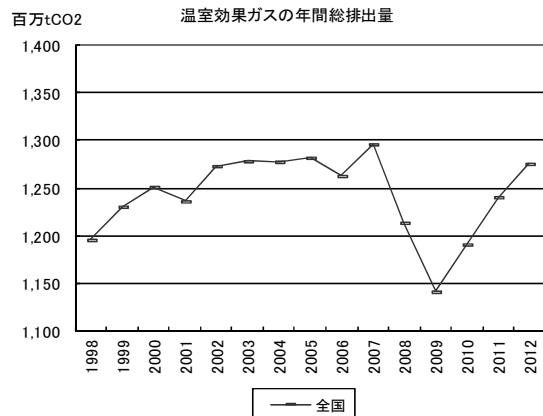


**【参考指標】**  
**温室効果ガスの年間総排出量**

**【指標の定義】**  
 CO<sub>2</sub> 排出量  
 単位：百万 t CO<sub>2</sub>

**【データ出典】**  
 独立行政法人国立環境研究所ホームページ

**【指標設定の視点】**  
 循環と共生を重視した社会の構築状況

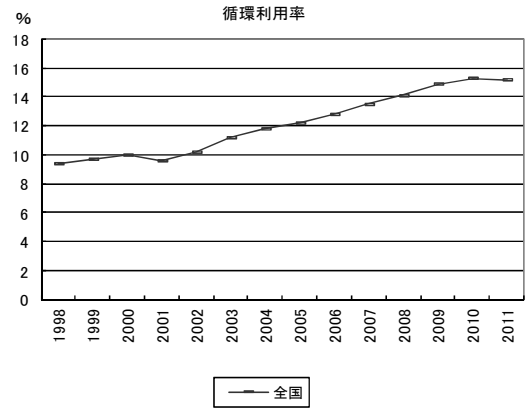


**【参考指標】**  
**循環利用率**

**【指標の定義】**  
 循環利用量 / (循環利用量 + 天然資源投入量)  
 単位：%

**【データ出典】**  
 環境省「第3次循環型社会形成推進基本計画の進捗状況点検報告書」

**【指標設定の視点】**  
 循環と共生を重視した社会の構築状況

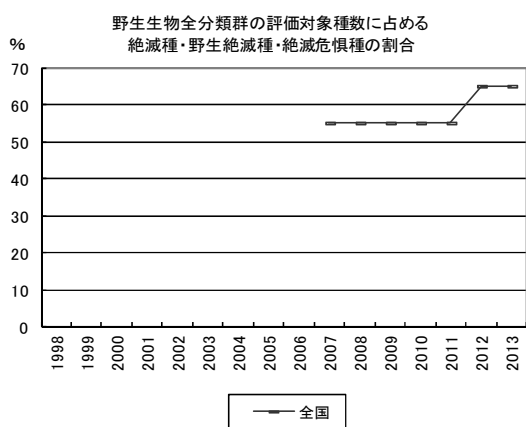


**【参考指標】**  
**野生生物全分類群の評価対象種数に占める絶滅種・野生絶滅種・絶滅危惧種の割合**

**【指標の定義】**  
 評価対象種に占める、絶滅 (EX)、野生絶滅 (EW)、絶滅危惧 I 類 (CR+EN)、絶滅危惧 II 類 (VU) の割合  
 単位：%

**【データ出典】**  
 環境省「レッドリスト」

**【指標設定の視点】**  
 循環と共生を重視した社会の構築状況

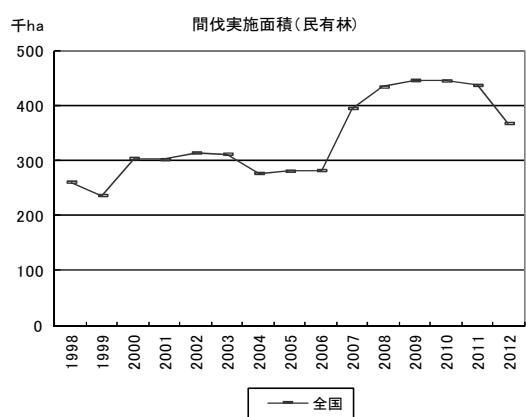


**【参考指標】**  
**間伐実施面積 (民有林)**

**【指標の定義】**  
 育成段階にある森林において間伐が実施された面積  
 単位：千 ha

**【データ出典】**  
 林野庁「森林・林業白書」

**【指標設定の視点】**  
 循環と共生を重視した社会の構築状況

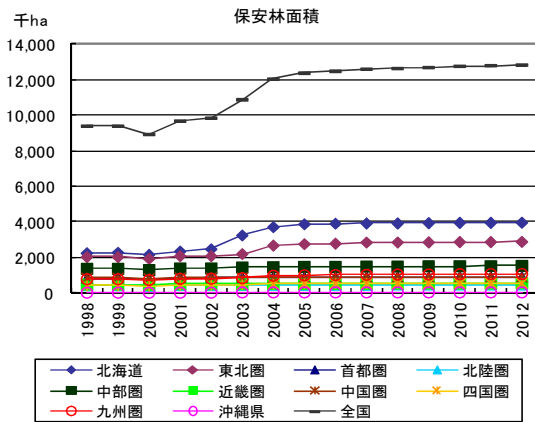


**【参考指標】**  
**保安林面積**

**【指標の定義】**  
 保安林制度により公共目的を達成するため指定された森林面積  
 単位：千ha

**【データ出典】**  
 林野庁「森林・林業統計要覧」

**【指標設定の視点】**  
 循環と共生を重視した社会の構築状況



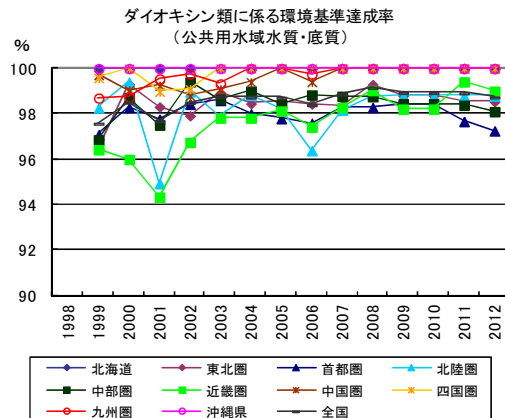
サブ戦略的目標（2）：流域圏における国土利用と水循環系の管理

**【参考指標】**  
**ダイオキシン類に係る環境基準達成率（公共用水域水質・底質）**

**【指標の定義】**  
 全国の水域を代表とする地点を原則としつつ、ダイオキシン類の発生源及び排水の汚濁状況、利水状況等を考慮して、測定された地点のうち、環境基準を達成している水域・底質の割合  
 単位：%

**【データ出典】**  
 環境省「ダイオキシン類に係る環境調査結果」

**【指標設定の視点】**  
 流域圏における総合的な水循環系の形成状況

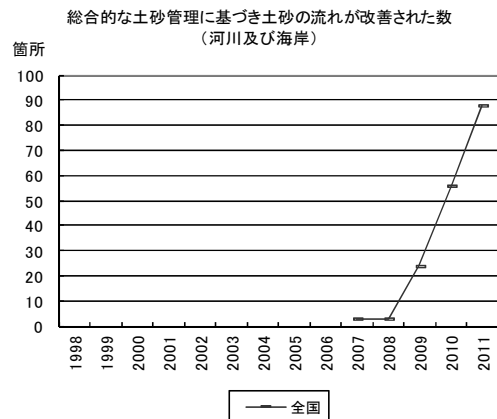


**【参考指標】**  
**総合的な土砂管理に基づき土砂の流れが改善された数**

**【指標の定義】**  
 土砂の流れに支障があり問題が発生している溪流、河川、海岸において、総合的な土砂管理に基づき、土砂の流れを改善することに資する事業に着手した数の累積  
 単位：箇所

**【データ出典】**  
 国土交通省「平成23年度政策チェックアップ評価書」

**【指標設定の視点】**  
 流域圏における総合的な水循環系の形成状況

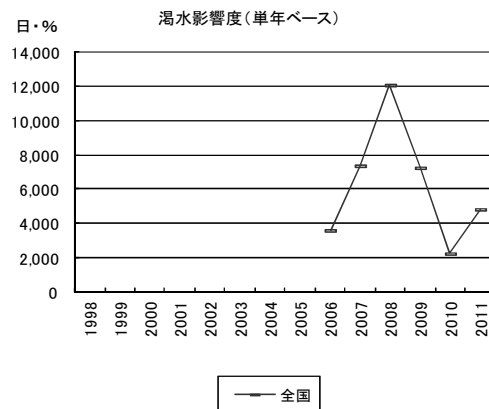


**【参考指標】**  
**渇水影響度**

**【指標の定義】**  
 全国の一級水系における水道用水の取水制限を対象とした、取水制限率と取水制限日数の積(過去5年間の平均値)  
 単位：日・%

**【データ出典】**  
 国土交通省「平成23年度政策チェックアップ評価書」

**【指標設定の視点】**  
 流域圏における総合的な水循環系の形成状況



サブ戦略的目標（４）：魅力あふれる国土の形成と国土の国民的経営

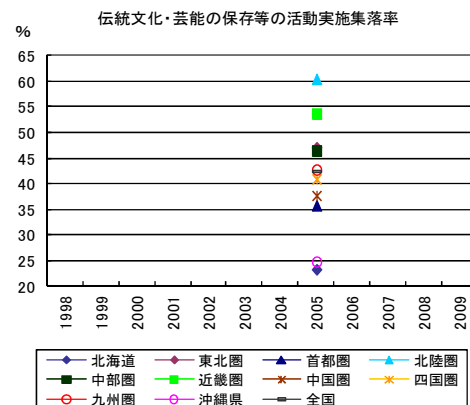
**【参考指標】**  
**伝統文化・芸能の保存等の活動実施集落率**

**【指標の定義】**  
 祭りの開催、伝統文化・芸能の保存、各種イベントの開催等  
 行っている集落の割合  
 単位：%

**【データ出典】**  
 農林水産省「農林業センサス」

**【指標設定の視点】**  
 美しい国土の管理と地域文化の保全・継承の状況

※最新の農業センサスにおいて、本データの調査を実施していないため。



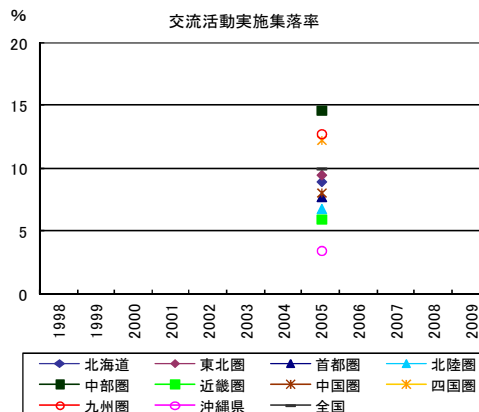
**【参考指標】**  
**交流活動実施集落率**

**【指標の定義】**  
 地域資源を活用した交流活動を行っている集落の割合  
 単位：%

**【データ出典】**  
 農林水産省「農林業センサス」

**【指標設定の視点】**  
 美しい国土の管理と地域文化の保全・継承の状況

※最新の農業センサスにおいて、本データの調査を実施していないため。



**【参考指標】**

**景観計画数・景観条例数**

**【指標の定義】**

各ブロック内の地方自治体で制定された景観に関する計画及び条例数  
 単位：件数

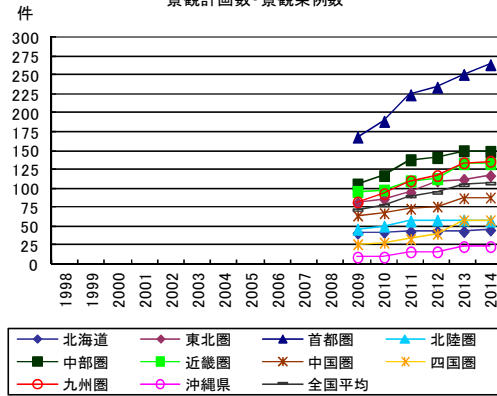
**【データ出典】**

財団法人都市づくりパブリックデザインセンターホームページ「景観行政ネット」

**【指標設定の視点】**

美しい国土の管理と地域文化の保全・継承の状況

景観計画数・景観条例数



1-10 戦略的目標5：「新たな公」を基軸とする地域づくり

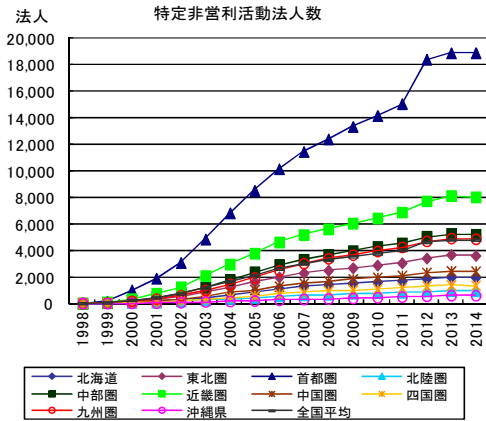
サブ戦略的目標（1）：「新たな公」を基軸とする地域づくりのシステム

**【参考指標】**  
**特定非営利活動法人数**

**【指標の定義】**  
 特定非営利活動法人数  
 単位：法人

**【データ出典】**  
 内閣府NPOホームページ

**【指標設定の視点】**  
 地域づくりにおける「新たな公」の活動状況

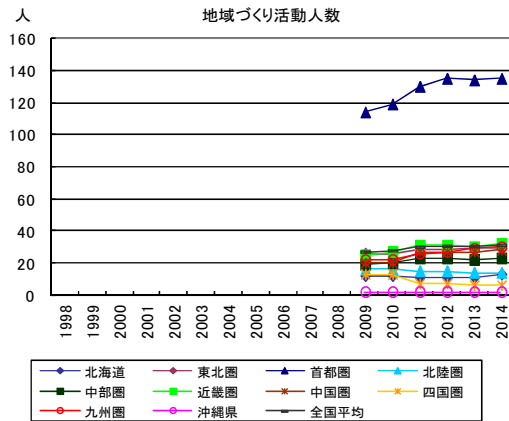


**【参考指標】**  
**地域づくり活動人数**

**【指標の定義】**  
 地域づくり人材バンク登録者数  
 単位：人

**【データ出典】**  
 財団法人地域活性化センター「地域力創造データバンク」

**【指標設定の視点】**  
 地域づくりにおける「新たな公」の活動状況

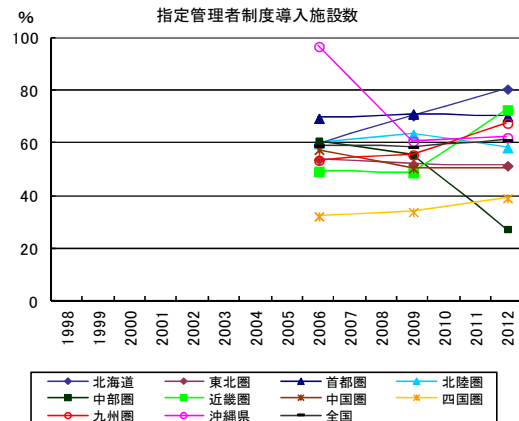


**【参考指標】**  
**指定管理者制度導入施設数**

**【指標の定義】**  
 公の施設数に占める指定管理者制度導入施設数の割合  
 単位：%

**【データ出典】**  
 総務省自治行政局行政課「公の施設の指定管理者制度の導入状況に関する調査」

**【指標設定の視点】**  
 地域づくりにおける「新たな公」の活動状況



サブ戦略的目標（２）：多様な民間主体の発意・活動を重視した自助努力による地域づくり

**【参考指標】**  
**社会への貢献意識**

**【指標の定義】**  
 社会のために役に立ちたいと思っている人の割合  
 単位：％  
 ※広域ブロックの境界が異なるため、内閣府で定義している分類を使用

**【データ出典】**  
 内閣府「社会意識に関する世論調査」

**【指標設定の視点】**  
 人々の地域づくりへの参加状況

